

須磨(各・陽・穂・玉・哈)

03 95-01 わつらはしくはしたなきわつらはしき  
陽

03 95-01 しらすかほにしらすかほにて各陽玉哈

03 95-01 ありへてもありへんも各哈

03 95-02 これよりまさることもやこれよります事も  
や各これよりはしたなきことともいてきこそ

せめ陽これよりはしたなきことともや哈

03 95-02 おほしなりぬおほしなりて各陽哈

03 95-02 すみかなともすみかも各陽穂すみかほも  
陽すみかとも哈

03 95-03 ありけれありけれと各哈

03 95-03 さとはなれ心すこくて人はなれ心ほそくて  
陽さとはなれ心すこくてノ上カラ心ヲ書  
ク玉

ク玉

03 95-03 まれになとまれになんりにたると各  
哈まれになんと陽玉かすかになりけると

穂

03 95-03 きノ給へときノ給へは穂哈

03 95-04 人しけく人しけく陽ひとしけう穂

03 95-04 ひたノけたらむをしなへたらん各陽哈ひた  
ノけたる穂

ノけたる穂

03 95-04 いとナシ穂哈

03 95-04 みやこをみやこ各

03 95-05 ぶるさといとぶるさと陽

03 95-05 人わるくそ人わるくそ陽玉哈ひとわろう  
穂

穂

03 95-05 おほし見たるノおほし見たる穂

03 95-05 よろつのこととよろつのことを陽穂

03 95-06 ゆくすゑゆくなき穂ゆくなきと哈

03 95-06 おもひつゝ給につくゝと思ひつゝ給  
に各おほしつゝくるに陽つれゝとおもひ  
つゝ給に穂

03 95-06 いとナシ各穂

03 95-06 さまノなりのみなり穂

03 95-07 うきものとうとましき物に各穂哈うとまし  
き物と陽

き物と陽

03 95-07 思ひすつる世もおほしはつるなへての  
世をも各哈おほしおもほし哈おほしす  
つるよを陽思すて給へるよをも穂おもひす  
つるよをも玉

つるよをも玉

03 95-07 すみはなれなん事をすみはなれ給ひなん事  
と各哈給ひナシ哈すみはなれんことは陽  
穂

03 95-07 おほすにはおほすにつけては各哈さすかに  
陽穂 おほすに玉

穂

03 95-07 いとナシ玉

03 95-07 すてかたきことおほかるすてかたき事おほ  
かり各陽哈わすれかたき穂

03 95-08 なかにも中にも陽哈

03 95-08 そへてはそへて各陽玉哈

03 95-08 おもひなけ給へるさまなけ給へらんこ  
と陽

03 95-09 心くるしうあはれなるを心くるしけさは  
何事にもすくれてあはれにいみじきを陽心  
くるしくあはれなるを玉

と陽

03 95-09 事をこと穂

03 95-09 おほさむにてたにおもはんにても各陽穂

くるしくあはれなるを玉

03 95-09 事をこと穂

03 95-09 おほさむにてたにおもはんにても各陽穂

哈

03 95-10 なをナシ陽穂哈

03 95-10 二日一日二日玉

03 95-10 ほとよそノにおのつから陽よそノに  
穂

穂

03 95-10 あかしくらすへたつる各陽へたゝる  
哈

哈

03 95-10 おりノたにに穂

03 95-10 おほつかなきものにおほつかなく各穂哈い  
かゝとのみおほつかなく陽

03 95-11 女君も女も穂

03 95-11 心ほそつのみおもひ給へるを心ほそき物に  
おほひたるを各陽穂哈おほひたるをおほし  
なたるを陽思給へるを穂哈

03 95-11 いくとせそのほとゝいくとせのほとゝ  
陽

03 95-11 いくとせそのほとゝいくとせのほとゝ  
陽

03 95-11 いくとせそのほとゝいくとせのほとゝ  
陽

陽

03 95-11 かきりあるみちかきりたるわかれ陽かき  
(き)りあるみちき力玉

(き)りあるみちき力玉

03 95-12 あらすあらて穂哈

03 95-12 あぶをかきりにナシ各哈あぶをかきりたる  
道右玉八らんノ上カラるみヲ書ク陽玉

03 95-12 へたノりゆかんもへたノりゆかん事各穂へ  
たノりゆかんを陽へたノりゆかむにと  
哈

03 95-12 へたノりゆかんもへたノりゆかん事各穂へ  
たノりゆかんを陽へたノりゆかむにと  
哈

03 95-12 へたノりゆかんもへたノりゆかん事各穂へ  
たノりゆかんを陽へたノりゆかむにと  
哈

03 95-12 へたノりゆかんもへたノりゆかん事各穂へ  
たノりゆかんを陽へたノりゆかむにと  
哈

03 95-12 へたノりゆかんもへたノりゆかん事各穂へ  
たノりゆかんを陽へたノりゆかむにと  
哈

03 95-12 へたノりゆかんもへたノりゆかん事各穂へ  
たノりゆかんを陽へたノりゆかむにと  
哈

03 95-12 へたノりゆかんもへたノりゆかん事各穂へ  
たノりゆかんを陽へたノりゆかむにと  
哈

03 95-12 へたノりゆかんもへたノりゆかん事各穂へ  
たノりゆかんを陽へたノりゆかむにと  
哈

03 95-12 へたノりゆかんもへたノりゆかん事各穂へ  
たノりゆかんを陽へたノりゆかむにと  
哈

03 95-12 へたノりゆかんもへたノりゆかん事各穂へ  
たノりゆかんを陽へたノりゆかむにと  
哈

03 95-12 へたノりゆかんもへたノりゆかん事各穂へ  
たノりゆかんを陽へたノりゆかむにと  
哈

03 95 13 しのひてナシ各陽穂哈  
 03 95 13 もろともにもやもろともにも各玉もろとも  
 にもやしひて陽穂哈にもやにや哈  
 03 95 13 おほしよるおほしなる穂  
 03 95 14 おりおりも各穂をりノハハ  
 03 95 14 心ほそからん心ほそ各陽哈  
 03 95 14 うみつらの海のつら陽うみつらに哈  
 03 96 01 人もなからんに人なからんところに各人も  
 なきからんに陽人なからむに玉ひとなか  
 らむ哈  
 03 96 01 御さまさま各哈おほんさま陽  
 03 96 02 心にも心地も各穂心も玉御心にも哈  
 03 96 02 物おもひのつまなるへきをなと物おもひつ  
 きせしと穂  
 03 96 02 おほしかへすをおほしかへす穂哈おほしお  
 もほし哈  
 03 96 02 女君ひめ君各女穂  
 03 96 02 いみしからむいかならん陽  
 03 96 03 みちにもをくれはなれしまにてもおくれ各  
 哈よにもはなれ陽  
 03 96 03 たにたにも玉  
 03 96 03 おもむけてナシ陽  
 03 96 03 おほいたりおほしたり各陽穂哈おもほした  
 り哈  
 03 96 04 花ちるさともはなちるさとなとも  
 穂  
 03 96 04 まれなれなれなれ穂  
 03 96 04 心ほそくころほそつ穂玉

03 96 04 あはれなるあはれける各  
 03 96 04 御ありさまを御さまをた各陽御ありさま  
 まを玉御ありさまをた各  
 03 96 05 かくれてよかわれて哈  
 03 96 05 ものし給へはすくし給へれはいみし各す  
 くし給へはいみしく陽哈いみしくいみし  
 哈  
 03 96 05 さまもさま各哈御さま陽  
 03 96 05 いとナシ各  
 03 96 06 ほのかにみたてまつりほのみたてまつり各  
 陽ナシ哈  
 03 96 06 かよひ給しかよひたまふ哈  
 03 96 06 心を御心を哈  
 03 96 06 くれたき給くたく各陽哈  
 03 96 07 人そおほかりけるたくひおほかりけり陽そ  
 おほかりける穂  
 03 96 07 入道の宮よりも入道の宮より各入道宮より  
 も穂  
 03 96 07 きこえやナシ穂  
 03 96 07 又ナシ玉  
 03 96 07 いかゝいかさまに各哈ひかさまにもや穂ひ  
 かさまに哈  
 03 96 07 とりなさむとなされんと穂とりなされんと  
 哈  
 03 96 07 わか御ためわか御ため人の御ため各穂哈わ  
 かおほんためも人のおほんためも陽  
 03 96 08 しのひつゝしのひては各しのひて陽  
 穂  
 03 96 08 つねにたえず各陽

03 96 08 ありありけり玉  
 03 96 08 あひおほしおひおはは力穂あひおもほ  
 し哈  
 03 96 09 みせたまはましかはみせ給はましかは  
 陽  
 03 96 09 うちおもひいて思ひいて各  
 03 96 09 給にもさままノに給ふもさまノ各  
 陽たまふにもさまノに穂給にさまノ  
 玉  
 03 96 10 つらくつらくも各哈つらく陽穂つらくも  
 哈  
 03 96 10 三月三月の穂  
 03 96 10 はつかあまりのほとになむみやこを廿日よ  
 ひの程にそみや各陽廿日日に宮を穂廿  
 日あまりのほとになん宮玉廿よ余ト也  
 日の程になん宮ハハ  
 03 96 11 人に人には各  
 03 96 11 いつとしもいまも各いまとも陽哈いまと  
 穂いまとしも玉  
 03 96 11 給はず給はて穂  
 03 96 11 たナシ各  
 03 96 12 ちかうちかく各哈ちか玉  
 03 96 12 つかうまつりつかまつり哈  
 03 96 12 なれたるなれたるか穂  
 03 96 12 かきりナシ陽  
 03 96 12 はかりナシ穂を哈  
 03 96 12 いかすかにいとがすかにて各哈ナシ陽  
 穂  
 03 96 13 たまふ給御ありさまいとがすかなり陽

03 96 13 所ノハに所ノハには各陽

03 96 13 うちしのひわさとならすうちしのひ各陽

哈 わさとなくうちしのひ穗

03 96 13 給ひしにも給ひしわたりにも穗

03 96 13 あはれとあはれみ穗あはれ哈

03 96 13 したのはるうちしたのはる陽

03 96 14 つくい給へるはかきつくし給へるは各穗

哈 かきつくし給は陽

03 96 14 見所もみところ各陽

03 96 14 ありぬへかりしかとありぬへかりしを各陽

哈 ありぬへりしを玉

03 96 14 心ちの心の各心哈

03 96 14 まぎれにまぎれには各陽穗玉

03 97 01 はかノハもはかノハも各はかノハ

しつ陽哈 はかノハしく哈

03 97 01 きノをかすきノをかす各のちきノをか

す陽 えきノをかす玉きノをかす哈

03 97 01 なりにけり也(なり)にけり玉

03 97 01 二三日かねて大殿に二三日かねて各二三日

かけて陽玉大臣殿に二三日かけて穗おほお

とのかかねて二三日哈

03 97 01 よにかくれておほいとのにわたりよのまに

わたり各 大將殿によのまにわたり陽よにか

くれてわたり穗哈よに夜に哈よにかくれ

大臣殿にわたり玉

03 97 02 あんしるくるまあしるの車各あしるくるま

陽穗哈

03 97 02 うちやつれたるにてやつれたるに各やつれ

給へるに陽うちやつれたる穗うちやつれた

るに哈

03 97 02 女くるまのやうにて女のさまに各陽 女さま

穗をんなのさまにて哈

03 97 02 かくるへかくるい各

03 97 03 いら給も入給へる各入給へるを陽入たま

ふさまも穗

03 97 03 あはれにあはれハにアルカ各

03 97 03 みゆ見る各おほゆ陽

03 97 03 御方御かたは穗哈

03 97 03 いとナシ哈

03 97 03 うちあれたる心ちしてあれたるさまして各

陽うちあれたるけしきにて哈

03 97 04 わか君の我君の穗

03 97 04 御めのととも御めのととも陽御めのととも

哈

03 97 04 むかしナシ哈

03 97 04 人の人ノハの各哈 ナシ陽穗

03 97 04 なかに中にも各陽穗 なかにも穗

03 97 04 まかてちらぬまかてちらぬ各陽 まかりち

らぬ穗 まかてちらぬ哈

03 97 05 わたりわたらせ穗

03 97 05 めつらしかりきこえてめつらしかりて各

陽めつらしかりきこえ哈

03 97 05 まうのほりつとひてまうのほりて陽

03 97 06 つけてもナシ哈

03 97 06 ことにものふかゝらぬ事に物ふかう穗 こと

にもふかゝらぬ哈

03 97 06 さへさえそ陽

03 97 06 おもひしられてかたノハに思ひしられて

各かたノハおもひしられ陽かたノハ思しら

れて穗哈

03 97 07 わか君はわか君各

03 97 07 うつくしうてされはしりうつくしうされ

てはしり各うつくしうてされはしり玉うつ

くしくされてはしり哈

03 97 07 おはしたりおはしたり陽

03 97 08 あはれなれいとあはれなれ陽ナシ穗

03 97 08 しのひかたけなりいとしのひかたけなり各

陽玉

03 97 09 たいめたいめむ各陽穗玉

03 97 09 給へらむ給へる各哈 給穗 給らん玉

03 97 10 なにとなには穗

03 97 10 侍らぬ侍らすとも各侍らん陽ナシ穗はん

へらすともまいりきて哈

03 97 10 むかしものかたりもナシ各穗 むかしの御物

かたりも陽玉物かたりもかたり玉むかし

の物かたりも哈

03 97 10 まいりてきこえさせむとまいりきてむかし

の御物語もと各穗まいりきてまいりて穗

ナシ哈

03 97 10 おもふ給入れと常に思ひ給つれと各穗お

もひ給ふれと陽おもひ給れと玉思給入れと

哈

03 97 11 やまひやまう各

03 97 11 よりよりて穗

03 97 11 おほやけにもおほやけに陽

03 97 11 つかうまつらすつかへ侍らす各陽穗哈

03 97 11 くらゐをもくらゐを哈

03 97-11 たてまつりて たてまつりて ミセケチアルカ」  
 各  
 03 97-12 わたくしさまには わたくしさまは穂哈  
 03 97-12 こしのへてさしのへて各  
 03 97-12 なむと 各陽穂  
 03 97-12 ものゝきこえ 物のきこへの 各八ぬノ上カ  
 陽 後出のヲ書フ各穂玉哈 物ゝきこえさまの  
 03 97-12 ひかノしがるへきを ひかノしがるへき  
 哈  
 03 97-13 いまは 今いまは陽  
 03 97-13 世中は かるへき 世の中をはかるへき各陽  
 穂玉哈 世の中をよのなかの(陽)世のな  
 か穂  
 03 97-13 身にも 侍らねども 侍らぬ身なれども 各身  
 にも 侍らねども 陽にも 侍らぬなれども 力  
 玉身には へらねと 哈  
 03 97-13 いと ナシ各  
 03 97-13 侍なり ナシ穂 侍てなん 哈  
 03 97-14 御事 事各  
 03 97-14 みたまふにつけて とかく 思ひ給につけても  
 各と かく おもふ給へるにつけても 陽と かく  
 思たまふるにも 穂哈 みたまふるにつけても  
 玉  
 03 97-14 いのち なかきは いのち なかき 人は 各 哈 いの  
 ち なかき 陽 いのち なかき 玉  
 03 97-14 心 うくいと はしう 各 陽 哈 いと はしく 陽  
 哈 いと はしく 陽  
 03 97-14 おもふ 給えらるゝ おもひ 給えらるゝ 各 陽 お

も 給へらるゝ 陽 思たまへらるゝ 穂 おも  
 ふ 給える 玉  
 03 97-14 よの すゑにも よにも 各 陽 よの すゑに  
 玉  
 03 98-01 おもふ たまへよら さりし おもひ たまい かけ  
 さりし 各 陽 おもひ たまい 思ふ 給 陽 おもひ た  
 まへよら さりし 穂 思 給 よら さりし 玉 哈  
 03 98-02 みたま ぶれば みたてまつれば 各 陽 哈 み 給 れ  
 は 玉  
 03 98-02 よろつ よろつ いよよ 二直ス 陽  
 03 98-02 いと いと 哈  
 03 98-02 あちき なく あちき なつ 玉  
 03 98-02 なんと なんと 各 陽 穂 玉 哈  
 03 98-02 いたう いと いたく 各 陽 穂 哈 いと いたう 穂  
 哈  
 03 98-03 かくる 事 も かくる ことも 世 也 力 穂  
 03 98-03 むくひに むくひ 玉  
 03 98-03 こそ こそは 穂 ぞ 哈  
 03 98-03 侍 なれば 侍 なれ 陽  
 03 98-03 た ナシ 穂  
 03 98-04 なむ の みな 哈  
 03 98-04 侍 ナシ 各 陽 穂 玉 哈  
 03 98-04 官尺 官 各 陽 官 封 陽 各 わん さく 穂 つかさ  
 くらひ 玉 官 爵 哈  
 03 98-04 こと 浦 各  
 03 98-05 おほや けのかしこ まり なる おほや けにかし  
 こ まり きて ぬる 各 陽 穂 哈  
 03 98-05 世中 あり ぬる は 世 を すくす は 各 哈 よ を す  
 くす 陽 世の なかす くす は 穂 よの 中 あり ぬ

る 玉  
 03 98-06 わさ さま 陽  
 03 98-06 し 侍 なる を し 侍 ける を 各 陽 哈 し 侍 に けり  
 穂  
 03 98-06 さ た め さ た め 哈  
 03 98-07 な と も ナシ 陽 な と 穂  
 03 98-07 侍 なる は 侍 なる は 穂 玉 は へる なる に  
 哈  
 03 98-07 侍 なる 侍 なる は 各 侍 なる 穂 玉  
 03 98-07 心 心 の ま 各 陽  
 03 98-08 侍 ら む も 侍 事 も 各 陽 侍 ら む 事 も 玉 哈  
 03 98-08 い と い と 各 玉 哈  
 03 98-08 お ほ く お ほ え 陽  
 03 98-08 お ほ き なる お も き 穂  
 03 98-09 の そ ま め お よ は め 陽 穂 お よ ぬ 八 は 力  
 陽  
 03 98-09 さ き に 程 に 穂 哈  
 03 98-09 世 此 世 各 陽  
 03 98-09 の か れ は な れ 各  
 03 98-09 お も ふ 給 へ た ち ぬ る 思 ひ 給 ひ た ち ぬ る 各 思  
 ひ た ち ぬ る 陽 思 た ま へ た ち ぬ る 穂 玉 哈  
 03 98-09 な と 各  
 03 98-09 き こ え か た ら ひ き こ 各 陽 穂 哈  
 03 98-10 御 も の か た り お ほ ん 御 物 か た り 陽  
 03 98-10 院 の 故 院 の 穂  
 03 98-10 御 事 お ほ む 事 哈  
 03 98-10 お ほ し お も ほ し 各 哈  
 03 98-10 御 心 は へ 心 は 陽  
 03 98-10 な と な と 各 陽 玉

03 98 11 えひきはなち ひきはなち各玉哈 ひきもはな  
 ち陽  
 03 98 11 たまはぬに 給はず玉 たまはぬ可哈  
 03 98 11 え心つよく 心つよく各 心つよくえ陽 え心  
 つよくは穂 え心つよ玉  
 03 98 12 わかきみの わか君各穂哈  
 03 98 12 なに心なく なに心もなく 各八にアルカ 各  
 陽穂哈  
 03 98 12 まきれありきて まきれありきたまいて各  
 穂哈 まきれありき給に陽 まきれありき給  
 玉  
 03 98 12 これかれになれ これかれ哈  
 03 98 12 おほいたり おほしたり各陽哈  
 03 98 13 侍にし 侍りし陽穂  
 03 98 13 世にいみしう各哈  
 03 98 13 おもふ給へわするゝ 思ひ給へわするゝ各 思  
 たまへわするゝ穂玉哈  
 03 98 13 よなくときなく各 おりなく陽穂玉  
 03 98 13 かなしひ かなしみ各陽玉 かなしう穂  
 03 98 14 御事に 御事にて各陽哈  
 03 98 14 もし ナシ各陽哈  
 03 98 14 ならましかは なりせは穂  
 03 98 14 おもひなけき おもひ給ひなけき各陽 おもひ  
 給ひ おもふ給陽 〔なけき穂 おもひ給へなけ  
 き玉  
 03 98 14 侍らまし 侍なまし各  
 03 99 01 みしかくて みしかうて穂  
 03 99 01 ゆめを ゆめをも陽哈 世をも穂  
 03 99 01 みす み侍らす哈

03 99 01 なりにける なり侍にける各陽 侍にける 侍  
 りにける陽 〔なり侍けるカ玉  
 03 99 01 思給なくさめ侍 おもひ給ひなくさめ侍を  
 各おもふ給へなくさめ侍るを陽玉哈 おもふ  
 給へ 思給へ哈 〔うち思たまへなすをりゝ  
 おほつ侍を穂 思たまへなくさみ侍を玉  
 03 99 01 給うか 給へる各 給玉  
 03 99 02 かくかくて玉  
 03 99 02 すきぬる すき侍ぬる各陽 侍ぬる 侍ぬる  
 陽 〔  
 03 99 02 中になかに穂玉  
 03 99 02 とまりとまり哈  
 03 99 02 きこえぬ きこへ給はぬ各陽 哈 きこえ給はん  
 穂 きこえ給えぬ玉  
 03 99 02 へたゝり給はむと へたて給はんと各陽 へた  
 らんと穂 へたゝり侍らんと哈  
 03 99 03 思たまふるをなむ おもひ給ふるになん各陽  
 穂 思たまふるになん穂 おもふ給ふるをなん  
 玉 ナシ哈  
 03 99 03 よろつの よろつ穂  
 03 99 03 ことよりも 事にごえて各陽 よりこえて  
 穂 ことよりこえて哈  
 03 99 03 かなしう かなしく陽玉哈  
 03 99 03 人も 人は穂  
 03 99 03 まこと 〔まこと 〔  
 03 99 04 おかしあるにても おかしあるにても各陽  
 穂をしあるにても哈  
 03 99 04 事につみには各陽 哈 ことは穂 事には  
 玉

03 99 04 あたらさりけり あたらす侍りけり各陽 あた  
 り侍らさりけり陽 あらさりけり穂  
 03 99 04 猶 ナシ各陽  
 03 99 04 さるへきにて さるへき人のなにかしにてこ  
 そ各穂哈 こそ こそは哈てさるにても陽  
 03 99 04 人のみかとも 人のみかとにても陽  
 03 99 05 おほう おほく各陽穂 ナシ哈  
 03 99 05 侍りけりされと 侍けれされと各侍けり  
 穂 〔は入りけれと哈  
 03 99 05 さることも さも各陽  
 03 99 06 かうさまに かうさまにも各  
 03 99 06 思給へよらむ おもひ給へよらむぬノ上カラ  
 むヲ書ク 〔各 おもふ給へよ覽陽 おもひ給へ  
 よらぬ穂  
 03 99 06 かたなくむなと かたなき各 かたなくと  
 陽 方なうなきと穂 かたなんなきと哈  
 03 99 06 御ものかたり 御物語など各  
 03 99 07 三位中将も 三ゐの 中将も陽 三位中将  
 穂  
 03 99 07 まいりあひ給て まいり給ひて穂  
 03 99 07 おほみき 御みき各穂 おほんみき哈  
 03 99 07 給ふに 給各穂 給又陽  
 03 99 07 夜 夜も各  
 03 99 07 とまりとまり各哈 まいり陽  
 03 99 08 御まへ 御前各玉 御とのぬ哈  
 03 99 08 さぶらはせ給て 候はせて陽  
 03 99 08 ものかたり 御ものかたり各陽哈  
 03 99 08 こよなう こよなく各陽哈

03 99 09 しのひおほすことしのひおほひたりし  
 各しのひおほしたりし陽哈)おほしおもほ  
 し哈)  
 03 99 09 中納言の君中納言などは各中納言の君など  
 は陽  
 03 99 09 いへはえにいと各いませ(はえか穂  
 03 99 09 かなしうかなしと各陽穂哈  
 03 99 09 おもへるさまをおもひきこえたるを各陽思  
 ひきこえたるを陽おもひたまへるさまを  
 穂  
 03 99 09 人しれす人しれすみしり給て各穂哈  
 03 99 10 おほすおもほす哈  
 03 99 10 人みな人ノ各陽哈 みな穂  
 03 99 10 しつまりぬるにしつまりぬるほとに各哈し  
 つまりたるほとに陽  
 03 99 10 とりわきてとりわき各陽玉哈  
 03 99 10 とまりたちとまり各陽玉哈  
 03 99 10 給へるたまふ各たる穂  
 03 99 10 なるへしへし哈  
 03 99 11 夜ふかう夜ふかく各陽哈  
 03 99 11 給ふに給へるに陽 給穂  
 03 99 11 ありあけの月ありあけの月の陽 有明月  
 穂  
 03 99 11 いとおかしナシ陽  
 03 99 11 花の木とも三月廿日よひのほとなれば花の  
 木とも各廿日よひのほとなればはなの  
 木とも陽やよひの廿日はかりなれば花木  
 とも穂三月廿日よひの事なればはなのきとも  
 哈

03 99 11 やうノナシ陽  
 03 99 12 うすきりわたりたるうすくらかりて各  
 陽哈うすらきわたる穂  
 03 99 13 そこはかとなくそこはかとなう玉  
 03 99 13 かすみあひてかすみあいたる程各陽哈  
 03 99 13 夜のよの各ナシ陽玉  
 03 99 13 あはれにあはれ(に)穂  
 03 99 13 おほくいとおほく各ナシ穂おほえ玉  
 03 99 13 たちまさりたちまさりたり陽  
 03 99 13 すみのすみのまの各陽玉哈  
 03 99 14 なかめ給なかめ入給へるに陽  
 03 99 14 中納言の君中納言きみ各玉  
 03 99 14 みたてまつりをくらむとにやみたてまつり  
 をくらんと思かほに穂  
 04 00 01 おもへはいとナシ陽  
 04 00 01 かたけれかたけれ各  
 04 00 01 かりけるいとかりける玉  
 04 00 02 よを身を各陽穂玉哈  
 04 00 02 心やすくもありぬへかりし心やすかりぬへ  
 かりし各心やすかりぬへかりつる陽心やす  
 くありぬへかりし穂ころやすくもあらぬ  
 へかりつる玉  
 04 00 02 月ころ月日を各穂哈ほと陽月ころを  
 玉  
 04 00 02 さしもさしもてノ上カラもヲ書ク玉  
 04 00 02 いそかておもはて各哈いかてか穂  
 04 00 02 へたてしよなとへたてつるよと各へたてけ  
 るよとつるノ上カラけるヲ書ク陽へたて  
 にしよなと哈

04 00 03 のたまへはものもきこえすの給御いらへも  
 えきこえやらす各の給はする御いらへきこ  
 えやらす陽のたまへはものもえきこえやら  
 て哈  
 04 00 03 なくなかノカニミセケチカ玉  
 04 00 03 御めのとの御めのと各陽哈  
 04 00 03 おまへより御前より各御方より陽ナシ  
 穂御まへより玉哈  
 04 00 04 御せうそ御せうそく陽哈 御消息穂  
 04 00 04 きこえ給へりナシ穂  
 04 00 04 身つからみつからも各陽玉哈むかし御物語  
 穂  
 04 00 04 きこえまほしきをかきくらすきこえさせ  
 まほしつ侍を各陽きこえさせまほしきを穂  
 哈  
 04 00 04 みたれ心ちみたれ心地のかきくらすれ侍に  
 各みたれ心ちのかきくらすれ侍を陽哈みた  
 れ心ちみたれ心ち哈  
 04 00 05 よふかうよふかく各陽哈ふかく穂  
 04 00 05 いてさせいて陽  
 04 00 05 心ちのみ心ちも陽心地玉  
 04 00 06 いたなきいたなき哈  
 04 00 06 ほとは程各陽玉哈  
 04 00 06 しばしはしはし各穂玉  
 04 00 06 給はて給へかし各陽玉  
 04 00 06 給へればたまへは各陽穂哈  
 04 00 07 うちなきたまひてうちなきて穂  
 04 00 08 もえしけふりももえしけふりも哈  
 04 00 08 まかふやとまかふやと玉

04 00 08 うらみにそゆくうらみにそゆく穂  
 04 00 08 各返ともなく御かへりともなく穂御かえり  
 となく玉おほむかへりこともなく哈  
 04 00 09 うちすし給てうちすんし給て各穂玉うちな  
 かめて陽  
 04 00 09 わかれはわかれよ陽  
 04 00 09 かうかく陽哈  
 04 00 09 のみやのみそ玉  
 04 00 09 心つくしなる心つくしならん各陽  
 04 00 09 思しり給へるおほしりたる穂  
 04 00 10 の給へはのたまへは各  
 04 00 10 ひとつとなくいつも穂  
 04 00 10 もし各各陽穂哈  
 04 00 10 侍るなる侍各陽穂侍なる玉は入れ哈  
 04 00 10 なかにも中にも陽なかに穂哈中に哈  
 04 00 11 あるましう待ましく陽あらしかしと穂あ  
 るましく哈  
 04 00 11 おもふ給へらるゝナシ陽思給らるゝ穂  
 04 00 11 ほとかなとこそなととノ上カラなヲ書ク  
 陽程かなと穂  
 04 00 11 おもふ給へらるゝおもひたまへらるゝ各思  
 たまへらるゝ玉  
 04 00 11 はなこゑにてナシ穂  
 04 00 11 けにナシ各陽あけに哈  
 04 00 12 おもへりおもひきこゑたよき八虫損ニヨリ  
 推読陽思給へる気色也穂  
 04 00 12 ことも返々事は返ノおほく各陽事ともか  
 すしらす穂こともかすノ哈  
 04 00 12 おもふたまへなから思ひたまひなから各お

もふ給へられなから陽思給へなから穂哈思  
 給られなから力玉  
 04 00 12 た々に只各ナシ哈  
 04 00 12 侍給へる穂  
 04 00 13 ほと程も各陽穂哈  
 04 00 13 をしはからせ給へおしはかられたまひて  
 穂をしはからせ給へてノ上カラせ給ヲ  
 書ク玉  
 04 00 13 いきたなきいきたなく侍各穂哈  
 04 00 13 人は人も陽穂ひと哈  
 04 00 13 みたまへむみ給へらん各  
 04 00 13 つけてもつけて陽  
 04 00 13 中ノナシ穂哈  
 04 00 14 うきようきよの哈  
 04 00 14 のかれかたうのかれかたく各陽穂哈のはな  
 れかたう玉  
 04 00 14 おもふ給へられぬへければ思ひ給らんへけ  
 れは各侍へければ陽穂おもひたまへらるへ  
 ければ玉哈おもひたまへ思給へ哈  
 04 00 14 心つよう心つよく各陽穂哈心つよくて  
 陽  
 04 00 14 思給へなしておもひ給なして各玉思ふ給へ  
 なして陽思なして穂  
 04 01 01 まかてまかんで陽  
 04 01 01 きこえ給きこえ給て各陽穂玉  
 04 01 01 いて給ふほとをいそき給ほと陽出給ぬ  
 穂  
 04 01 01 いらかたの月入きは月の各入きはの月  
 穂

04 01 02 いとゝいみしく各陽ナシ穂  
 04 01 02 なまめかしうきよらにてなまめかしき御さ  
 まにて陽  
 04 01 02 ものをもの穂  
 04 01 02 おほいたるおほしたる各陽玉哈うちおほし  
 たる穂(氏)おほしたる哈  
 04 01 02 さまナシ穂  
 04 01 02 たらおほかみたにたらおほかみ哈  
 04 01 03 ましてまして陽  
 04 01 03 おはせしほとナシ各おはせし時穂  
 04 01 03 みたてまつりそめてしみたてまつりそめし  
 穂玉哈  
 04 01 04 たとしへなきたとゑなき各穂  
 04 01 04 御ありさまおほんさま哈  
 04 01 04 おもふみたてまつる各哈思ゑり歎玉  
 04 01 04 御返御かへり各御返也陽御返は哈  
 04 01 05 へたゝらむへたつらん哈  
 04 01 05 けふりとなりしけふり(となり)と力に  
 力穂  
 04 01 05 あはれあはれは(れ穂  
 04 01 06 のみナシ哈  
 04 01 06 なこりなこりも各陽  
 04 01 06 ゆゝしきゆかしき陽穂  
 04 01 06 おはしたればおはしつきたれば各をはしま  
 したれば陽  
 04 01 07 わかわかき陽  
 04 01 07 人ノも人ノもみな各陽哈人ノ  
 穂  
 04 01 07 所ノにナシ穂所々哈

04 01-07 むれゐてむれゐつゝ各陽穂哈  
 04 01-08 おもへるけしきなりおもへり各陽穂哈  
 04 01-08 さふらひにはとふらひに穂  
 04 01-08 したしうしたしく各陽  
 04 01-08 つかまつるつかうまつる各穂玉 仕まつる  
 陽  
 04 01-09 御ともおほんとも陽  
 04 01-09 にまいるへきなるへき穂哈  
 04 01-09 わたくしのをのゝわたくしの各陽  
 04 01-09 わかれおしむわかれをゝしむ穂玉  
 04 01-09 人も人けも各陽 人かけも穂哈 人めも  
 玉  
 04 01-10 人はとふらひまいるもをもきひととはたとふ  
 らひにまいるもおもき各陽 哈ひととはひと  
 (は)た各人は哈まいるもおもきまいる  
 は(た)もおも(き)各  
 04 01-10 ことまされは事のみあれは各事とものみあ  
 れは陽(こと)のまされは玉  
 04 01-10 所せくところせう穂  
 04 01-11 かたもなくかたもなき穂 所もなく玉  
 04 01-11 さひしきにさひしきを各陽 をそ穂さひし  
 きも哈  
 04 01-11 なりけりナシ穂  
 04 01-11 おほしじらるおほしじる各陽玉 哈おほしい  
 られける穂 おもほじらる哈  
 04 01-12 などもな(た)とも(各)  
 04 01-12 たゝみ たゝみは玉  
 04 01-12 ひきかへしたりひきかへしつゝ各陽玉  
 04 01-13 かゝりかゝれば各陽

04 01-13 ましてまいて各  
 04 01-13 にしのたい(西)西のたい各  
 04 01-13 給へればたまへは穂  
 04 01-13 御かうしみかうし陽穂玉  
 04 01-14 あかしナシ穂  
 04 01-14 なとにに穂  
 04 01-14 わかきナシ各  
 04 01-14 はらはへ人ゝわらはへなとも各人ゝわ  
 らうへなとも陽 人わらはへなと穂 人ゝわ  
 らはへなと玉哈  
 04 01-14 ところノゝにナシ穂  
 04 02-01 おきさばくをきさばきて哈  
 04 02-01 おかしうておかしけにて各おかしくて  
 陽いとをかしうて穂 哈いとをかしくて  
 哈  
 04 02-01 見たまふにも見たまふも各  
 04 02-02 心ほそう心ほそくて各哈 心ほそく陽 ナシ  
 穂  
 04 02-02 とし月へはかゝるとしころへける陽とし月  
 へは玉  
 04 02-02 えしもありはてゝやえありはてすや各陽  
 穂 えありはてすや陽 えしもありはてすや  
 哈  
 04 02-02 ゆきちぢらむなとゆきけらんと各陽穂玉  
 04 02-02 さしもあるましきことなるましき事に各  
 陽 さしもあるましき事に穂 さしもあるまし  
 き玉  
 04 02-03 御めのみ御目の各おほんめのみ陽 哈  
 04 02-03 とまりけりとまりて玉ととまりけり

04 02-03 しかゝしてかこにて陽 哈  
 04 02-03 夜よの各陽 夜の陽よ穂 哈  
 04 02-03 ふけにしかはふけしかは各  
 04 02-04 さまにややうにや穂  
 04 02-04 おほしなしつるおほしなりぬしつゝ各お  
 もほしなしつる哈  
 04 02-04 かくてかくてな哈  
 04 02-04 御めおほんめ陽  
 04 02-04 かれすかれし陽玉 かれせず穂 哈  
 04 02-05 おもふをかくおもふをかう穂 思をく玉 思  
 をかゝる哈  
 04 02-05 きはにはおりには各陽 きわゝ穂 哈  
 04 02-05 ことのことのみ穂  
 04 02-05 をのつからナシ穂  
 04 02-05 おほかりけるおほかりけるを各陽穂玉  
 哈  
 04 02-06 ひたやこもりにてやはひたやこもりにてや  
 各陽 ひたやこもりにては哈  
 04 02-06 つねなき たつねなき陽  
 04 02-06 人にもナシ各陽 人に穂  
 04 02-06 ものと物に人には各物に人に陽  
 04 02-06 心をかれはてんとおしうて心おかれし  
 とて各陽 心をかれ侍らんといとをしうて穂  
 哈侍らんと侍らんと哈(心をかれはてんと  
 いとをしうて)ノ上カラはヲ書ク玉  
 04 02-07 なむととと穂玉 なんと哈  
 04 02-07 きこえ給へはのたまへは穂 ナシ玉  
 04 02-07 かゝるよをかゝるを穂

04 02 07 みるより 見侍より各穂玉哈 み侍陽 みはん  
 へるより穂  
 04 02 07 ほかにはほかに穂 ほかの哈  
 04 02 08 なに事にかとなにこにかはと各陽 何事をか  
 はと穂 なに事かと玉 なにこにか哈  
 04 02 08 はかりのたまひていみしとはかりの給穂 お  
 もひ給へられむとはかりそのたまへと哈  
 04 02 08 おほしいれたる おほし入たる各穂 おほしい  
 りたる哈  
 04 02 08 人より 人よりは陽  
 04 02 08 ことなるを ことなり穂哈  
 04 02 09 ちゝみこいとおろかに ちゝ御子も各陽 御  
 子 みて陽 ちゝみこは穂 ちゝみこはいとを  
 ろかに玉哈  
 04 02 09 もとより ナシ玉  
 04 02 09 おほしつきにけるにおろかにおはするに各  
 陽穂 おはするに玉  
 04 02 09 まして いとゝ各 いと陽  
 04 02 10 をとつれ ナシ穂 をとつれも哈  
 04 02 10 御とぶらひにたに 御訪にも各陽 御とぶらひ  
 をたに穂 御とぶらひにたにも玉  
 04 02 10 わたり きこえ穂  
 04 02 10 給はぬを 給はぬは各陽  
 04 02 11 みるらむ 見おもはむ各穂 みおもふらん陽哈  
 04 02 11 ことも こと穂 も哈  
 04 02 11 はつかしく はつかしづ各穂  
 04 02 11 たてまつらて たてまつらても陽 たてまつり  
 て哈

04 02 11 やみなましを やみなましものを各陽 やみな  
 ましをは穂  
 04 02 12 まゝはゝの ナシ穂 まゝはゝの 補入アル  
 カ玉  
 04 02 12 などの などは各 など陽 ナシ哈  
 04 02 12 にわかなりし はかなりし各  
 04 02 12 さいはひの 御さいわいの各陽穂玉哈 御お  
 ほん陽  
 04 02 12 あわたゝしさなどかく心あはたゝしき各陽  
 穂哈 かく ナシ穂 かつ哈  
 04 02 12 あな ナシ穂  
 04 02 13 おもふ人 おもふ人に各陽穂玉哈  
 04 02 13 方々につけて かつ々につけつ々各陽 か  
 た々穂  
 04 02 13 わかれ給ふ おくれたまふ穂哈  
 04 02 13 人かなと 人かなと各穂哈 かなと陽  
 04 02 13 ありて 有ては穂  
 04 02 14 もりきゝ もれきゝ陽 きゝ穂  
 04 02 14 給ふにも 給も各穂哈 給ても陽  
 04 02 14 いみしう いみしく各陽 ナシ穂  
 04 02 14 をとつれきこえおとなはれ各 きこえ陽穂  
 哈  
 04 03 01 なくけにそ なくてけに各 なく気色穂 なく  
 けに哈  
 04 03 01 御ありさまなる猶 人の御さまなり 各人の御  
 ありさまなる陽 人の御さま也 猶穂哈さまあ  
 りさま哈 御ありさまなるを玉  
 04 03 01 ゆるされかたうて ゆるされなくて各哈 ゆる

されかたうて陽 ゆるしなくて穂  
 04 03 02 とし月を とし月各陽穂哈  
 04 03 02 いはほ いはや各哈 いみしからん いはや  
 穂  
 04 03 02 なかにも 中にも各陽 なかにても哈  
 04 03 02 むかへ かならずむかへ各陽  
 04 03 02 たてまつらむ たてまつりてん哈  
 04 03 02 人きゝの 人きゝも穂  
 04 03 02 いと ナシ各陽  
 04 03 03 かしこまりきこゆる かしこまりきこゆる  
 各かしこまる穂哈  
 04 03 03 かけをたにみす ひかりにもあたらす 各か  
 けにもあたらす陽 光も見穂 かけたにみす  
 玉 かけをもみす哈  
 04 03 04 やすらかにみを やすらかに穂 身をやすらか  
 に哈  
 04 03 04 ふるまふことも ふるまうも各陽  
 04 03 04 ひとつみを もかなり つみおもかんなる事な  
 れは各 つみふかゝなる事なれば陽 つみをも  
 かなり玉  
 04 03 05 さるへきにこそ さるへきにこそ各陽穂  
 玉 さるへきにてこそは哈  
 04 03 05 ことも 事の各玉 事陽  
 04 03 05 と思に ナシ各穂  
 04 03 05 くるはれいなき くるはれいなき各侍ら  
 するはれいなき哈  
 04 03 06 ことなるを 事なればはかり各陽  
 04 03 06 ひたおもむきに ひたおもむきなる陽 ひたお  
 もむ(む)きに哈

04 03 06 ものくるをしき ナシ陽  
 04 03 06 世にて世なれば各よなんめれば陽  
 04 03 06 ことも はちも各陽哈  
 04 03 06 ありなんなどありなんとつゝみてなんなど  
 各陽穂哈つゝみてつゝめて陽「なんなどな  
 と穂哈」  
 04 03 07 きこえしらせ給きこえしらせ給て哈  
 04 03 07 日 日 日 各  
 04 03 07 たくる たかくなる各陽  
 04 03 07 おほとこのこまれり 御とのこもりたるに各陽  
 穂  
 04 03 07 帥宮三位中将など 帥の御子三位中将など各  
 穂哈「御子 みこ穂哈」三ゐる 中将そちの宮  
 陽 帥の宮三位中将など玉  
 04 03 07 おはしたり まいり給へれば各陽  
 04 03 08 たいめ たいめん陽穂玉哈  
 04 03 08 くらゐ くらゐ(各)各  
 04 03 08 し給はむとて 御なをしなとし給とて 御そ  
 陽 したまふとてをきたまひておほむなをし  
 など哈  
 04 03 08 なをし 直衣の各哈 なをしを陽 ナシ穂  
 04 03 09 中ノ、いと ナシ各陽 なかノ、玉、いと  
 哈  
 04 03 09 なつかしきを ナシ陽  
 04 03 09 き給て ぎ給へり各陽  
 04 03 09 うちやつれ給へると うちやつれたる御すか  
 た中ノ、各やつれたる御すかた中ノ、なつか  
 しつ陽 うちやつれたまへるしもいと哈  
 04 03 10 よりよりの各

04 03 10 おもやせ給へる おもやせたる各  
 04 03 10 いと ナシ各陽哈  
 04 03 10 あてにあてたえノ上カテてヲ書ク力重  
 04 03 10 きよら けつら各穂  
 04 03 11 こよなつこよなく陽哈  
 04 03 11 おとろへにけれをとるへにけれな哈  
 04 03 11 やうにや やうに各八にミエズ各穂玉  
 04 03 11 侍 侍 各穂  
 04 03 12 の給へは きこへたまへは各陽  
 04 03 12 女君 女君 穂  
 04 03 12 なみた なみたを各陽穂玉哈  
 04 03 12 うけて うけたまひて穂  
 04 03 12 のひかたし のひかたつ陽  
 04 03 14 さらぬかゝみの さらぬかゝみに哈  
 04 04 01 給へは 給は各  
 04 04 02 なくさめてまし なくさみなまし各陽 なくさ  
 みてまし玉  
 04 04 02 はしらかくれにぬかくれて涙をまきはし給  
 へる いふともなくまきはしてはしらかく  
 れにそひふしうしろむきてなき給へる各陽哈  
 「そひふしそひふして陽哈」うしろむきてな  
 き給へる そむぎ給へる陽「  
 04 04 03 さまさまの穂さま」(け歎)(玉  
 04 04 03 猶 ナシ各陽  
 04 04 03 なかに よに各陽哈 世のなかに穂  
 04 04 03 たくひなかりけりとおほししるゝ たくひ  
 なくもありける各陽哈 たくひなかりける玉  
 04 04 04 人の ナシ各

04 04 04 御ありさまなり 御さまかなとそまほられた  
 まふ各陽哈「御さまさま哈」(まほられまも  
 られ哈「御ありさまなりと玉  
 04 04 04 みこは 御子は各 ナシ穂  
 04 04 04 御ものかたり 御物語つきせす各陽 御物かた  
 りなとつきせす陽  
 04 04 05 きこえ給て きこえ給穂  
 04 04 05 給ひぬ 給ぬれば哈  
 04 04 05 心ほそけに 心ほそけ(お)ミセケチアルカ「  
 各心ほそけと哈  
 04 04 06 ことほりにて いとをきこつ各陽哈 いとをしく  
 陽哈  
 04 04 06 つらとちや つらとちもや各玉哈 つらとちや  
 と穂  
 04 04 06 おもはんといと おもはむと各陽 いととし  
 のはるへきこを穂  
 04 04 07 夜は よも各陽哈 よは穂玉 夜も哈  
 04 04 07 いと ナシ穂哈  
 04 04 07 いたう いたく各陽 いといたう穂哈  
 04 04 08 かく かく 穂  
 04 04 08 かすまへ給て かすまへ各陽穂 かすまへ給ぶ  
 て玉 かすまへたまて哈  
 04 04 08 たちよらせ給へる たちより給へる各陽 たち  
 よらせ給える玉 たちよらせたまふ哈  
 04 04 08 ことゝ こと各陽 事を穂 事も玉  
 04 04 08 よろこひ よろこひに穂  
 04 04 08 さま 事各陽哈 を穂 ナシ玉  
 04 04 08 かけつゝ けむも 申つゝ けん穂  
 04 04 09 うるさしうるさしかし各うか(る)さし

哈

04 04 09いとナシ各陽  
 04 04 09いみしういみしく陽  
 04 04 09心ほそき心ほそきと哈  
 04 04 09御ありさま御ありさまも各陽哈  
 04 04 09たゝ口たゝ各  
 04 04 09御かけこの御かけ各陽穂哈このかけ  
 玉  
 04 04 09すくいたまへるすくし給へは各陽すくしす  
 唐へく(各)すくし給へれば穂すくし給え  
 る玉すくし給へるを哈  
 04 04 10とし月とし月に各陽穂  
 04 04 10いとナシ陽  
 04 04 10ほとナシ陽こと穂  
 04 04 10おほしやられてとのうちおもひやられて  
 殿の中各哈)中うち哈)とのうち思ひや  
 られて陽おほしやられて殿中殿八侍力)  
 穂  
 04 04 10いとナシ穂玉  
 04 04 10かすかなりかすかなる陽  
 04 04 11月おほるにおほるに月穂  
 04 04 11さしいてゝさし入て陽  
 04 04 11山こぶかきわたり山の木ぶかきわたり各山  
 の陽山のこぶかきわたり哈  
 04 04 11心ほそけに心ほそく木くらく各心ほそく木  
 こくらく陽  
 04 04 11みゆるにもみゆるぬる(に)もわたノ上カラ  
 ゆるヲ書キ、サラニ傍記陽  
 04 04 12いはほのなかいはの中各哈)中なか哈)い

はほの中陽

04 04 12おほしやらるおもひやらる各陽をほしやる  
 玉  
 04 04 12にしおもては西おもてには各穂玉哈にしお  
 もてにはた陽  
 04 04 12給はすやと給はすもやと穂  
 04 04 13うちくしてうちくして各陽玉  
 04 04 13おほしけるにおもほしけるに哈  
 04 04 13あはれあはれを哈  
 04 04 13そへたるそひたる穂  
 04 04 13なまめかしうなまめかしく各なまめかし  
 く玉  
 04 04 14にほひにほひは各哈  
 04 04 14いり給へは入給へれば各陽  
 04 05 01やかてやかて各ナシ陽  
 04 05 01みてみつゝ陽哈  
 04 05 01こゝにこゝにも各陽玉こゝにて穂哈  
 04 05 01ほとにほと穂哈  
 04 05 01あけかたあか月穂  
 04 05 02ちかうちかく各陽哈  
 04 05 02みしかよみしかの夜各陽穂哈みしかの歎(玉  
 04 05 02かはかりのかゝる各  
 04 05 02又はまた陽  
 04 05 02えしもやいつか各陽  
 04 05 03ことなしにてすくしする事なしにすきぬる  
 各すきぬる陽)ことなしにてすくしする穂  
 玉)ことなしにすくしする哈

玉

04 05 03としころもとし月各とし月も陽穂)ころも  
 玉  
 04 05 03くやしうかう陽くやしく哈  
 04 05 03きしかたかくきしかた哈  
 04 05 03ゆくさきのためしにゆくすまのためしとも  
 各陽哈)とも)に哈)  
 04 05 04なるへき成ぬへき穂  
 04 05 04なにとなくなにとしもなく各何事とも  
 なく陽)なにともなく玉)なにとなく哈  
 04 05 04心のとまるものゝ心ほそくたましいじつま  
 る各穂哈)ものゝ心ほそく物心ほそく穂)  
 04 05 04世なくよもなきに各陽よなきに穂哈  
 04 05 04すきにしかたむかし各陽きし方穂哈  
 04 05 05ことゝも事ともなと陽玉事も穂  
 04 05 05の給ひての給ひてゝ穂哈)ひてゝいてゝ  
 哈)  
 04 05 05なけはなきぬれば各  
 04 05 05世によをさえ各陽世を穂  
 04 05 06月の月各陽ナシ穂  
 04 05 06いりはつるほといるを穂  
 04 05 06よそへられておもひよそへられて哈  
 04 05 06あはれなりあはれにおほゆ穂  
 04 05 06女君の女君各玉  
 04 05 06ぬるゝぬゝ哈  
 04 05 08あかぬひかりをあかぬなこりを各  
 04 05 09おほいたるかおほひたる気色も各おほし  
 たるさまも陽おほしたるか穂おほしたる  
 玉

04 05 09 かつは かつ穂  
 04 05 10 つめにすむへき ついにすくへき各  
 04 05 10 そらなくかめそ そらなくかめそ哈  
 04 05 11 はかなしやかなしや穂  
 04 05 11 のみ ナシ各陽穂  
 04 05 11 心をくらす 心をさへくらす各陽  
 04 05 11 ものなれものなりけれ各陽哈  
 04 05 11 などのたまひてとて各陽  
 04 05 12 よろつの事ともよろつこととも哈  
 04 05 12 したゝめさせ給したゝめ給玉  
 04 05 12 したしうしたしく陽哈  
 04 05 12 つかまつりつかまつり各陽穂哈つかまつ  
 ころ玉  
 04 05 13 なひかぬしたかないひかぬ各陽  
 04 05 13 かきりのかきりの穂  
 04 05 13 人々人々の各陽玉  
 04 05 13 とりをこなふしりおこなふ陽哈  
 04 05 13 へきへきを各陽へきかきり穂哈  
 04 05 13 さためをかせさためおほせ陽  
 04 05 14 御ともにしたひきこゆるかきりは又えりいて  
 給へりナシ哈  
 04 05 14 きこゆるまいる陽玉  
 04 05 14 又えりいて給へりみなえりいてさせ給陽  
 哈またえりいて穂  
 04 05 14 御すみかのくは 御すまひのくは各すみかの  
 れつには哈  
 04 06 01 えさらすとりつかひたまふへきものともこと  
 さらよそひもなくことそきてナシ穂  
 04 06 01 ことさら ナシ各陽哈

04 06 01 よそひよする音玉よる陽  
 04 06 01 さるへきふみとも文集なといりたるはこきて  
 はしなしつゝ文集なにくれのさるへき文共  
 入たるはこなとさては各陽哈文共ふみとも  
 の哈「文しふの御はこもいとことそきてし  
 なし穂またさるへきふみとも文集なといり  
 たるはこきては玉  
 04 06 02 琴きん各陽穂玉哈  
 04 06 02 ひとつそひとつとそ各ひとつ陽ひとつを  
 そ哈  
 04 06 02 もたせ給もたまへる哈  
 04 06 03 御よそひ御ほんよそい陽御よする穂  
 04 06 03 などとは哈  
 04 06 03 さらにナシ陽  
 04 06 03 くしくせさせ各陽  
 04 06 03 あやしのいとかるらかに各いとかるやかに  
 陽いとかるらかにあやしき穂哈  
 04 06 03 山かつめきてやまさとめきて各山かつのあ  
 りは玉ヨイカ穂  
 04 06 03 もてなし給もてなさせ給各陽おほしまか  
 ふ穂もてもてなさせ給ふおほしおきて給  
 哈  
 04 06 04 はしめはしめてたゞ各始て陽哈  
 04 06 04 よろつのことよろつ的事を穂  
 04 06 04 みな ナシ各陽  
 04 06 04 きこえわたしきこへさせ各きこえわたさせ  
 陽  
 04 06 05 りやうし給両し給陽所々の穂ナシ玉り  
 やうしたまふところハ哈

04 06 05 みさうみまき御しやう御まき各みしやうみ  
 まきとも陽御庄御まきの穂  
 04 06 05 よりはしめてさるへき所々ナシ穂哈  
 04 06 05 所々所々の各陽玉  
 04 06 05 券なとけんたつふみなといふもの各けんな  
 といふ物ふ八虫損タガ推読陽ふみとも穂券  
 たつふみともな哈  
 04 06 05 みな ナシ穂  
 04 06 06 それよりその各  
 04 06 06 ほかのほかに玉  
 04 06 06 みくらまち御倉町各穂玉哈  
 04 06 06 おさめとのナシ穂  
 04 06 06 なといふ事までなにかの事まで穂  
 04 06 06 少納言をはかしくしきものに少納言のめ  
 と心はへはかしくしうめたからぬさま  
 と各陽はかしくしうはかしく陽はさ  
 まありさま陽「少納言をものはかしくしき物  
 に穂少納言のめとの心はえはかしくしう  
 へしうめたからず哈  
 04 06 07 みをきみをかせ各陽をき玉  
 04 06 07 給へれば給へは各給たれば陽  
 04 06 07 したしきナシ各陽したゝかなる穂哈  
 04 06 07 けいしともたけ歎いしとも玉  
 04 06 07 かくしてくしつゝたゝひとかたに各陽めして  
 穂  
 04 06 07 さまともさまを各陽よし穂さまをとも  
 玉ちよさま哈  
 04 06 08 中つかさ中将なとやうの人々中将の君中  
 務やうの人々も各陽「中将の君 中将君陽

中將宰相のきみ中つかさやうのひと穂中つかさの中將なとやうの人ノも玉中將のきみなかつかさなとやうの人ノハ

04 06 08 御もてなしおほんもてなし陽

04 06 09 なからなから各陽穂玉哈

04 06 09 みたてまつるほとこそみたてまつるを各陽みたてまつるにこそ穂哈

04 06 09 なくさめつれなくさめにてこそさぶらへ各なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

04 06 09 なくさめにてこそかくハ候ノ誤

と穂ものともなと哈しなノにしなノ陽しなノにしたかひて穂哈まうのほらせ給え玉

04 06 11 御めのとたち御めのと各陽御めのと

04 06 12 なたもなにも各陽玉哈なと穂

04 06 12 さまのはさるものにてさまにしなして各陽さまのことはさる物にて穂

04 06 12 すちにさまに各すちにも陽哈すちも

04 06 12 ことなしくまなし穂哈

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 06 13 御もとにわりなくしてきこえ給御もにも

04 07 04 給へと給入れと「はノ上カラとヲ書クカ」各

04 07 04 とこそせうなん所せけなり各ところせかり

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

04 07 06 つかふみなはもうかふ身のあはも陽穂

すとののくれには穂玉哈  
 04 07 10 おかみをぬか(み哈)  
 04 07 10 たてまつりナシ穂  
 04 07 10 給とてたまはんとて各陽哈きこゑんとて  
 穂  
 04 07 10 きた山へきた山へ哈  
 04 07 10 まつて給まいり給各陽玉  
 04 07 10 月いつるいつる哈  
 04 07 11 まつ入道宮にまつて給ちかきナシ穂  
 04 07 11 入道宮に入道の宮に各玉哈 入道の宮え陽  
 04 07 11 まつて給まいり給えぬ各八てノ上カフえヲ  
 書ク各陽まつて給入り哈  
 04 07 11 おまし御まし各  
 04 07 11 御身つから身つから穂  
 04 07 12 きこえさせ給きこへたまふ各穂哈  
 04 07 12 東宮の御事を東宮の御事を各 春宮の御事  
 「文字アルカ玉 春宮御事を哈  
 04 07 12 いみしうしるめたきものに思きこえ給い  
 とつしるめたき事におもひきこへたまいて各  
 陽うしるめたきうつてしるめたき陽うしるめ  
 たしとおもひきこゑ給て穂いみしうしるめ  
 しるめたなき事に思きこえたまふ玉いみし  
 くうしるめたき事に思きこゑ給て哈  
 04 07 12 かたみにかたみにきこゑたまふ穂哈  
 04 07 13 とちのナシ穂  
 04 07 13 御ものかたりは御ものかたりは各御物  
 かたりはた哈  
 04 07 13 よろつよろつの各陽玉哈ナシ穂

04 07 13 あはれあはれも陽穂玉  
 04 07 13 なつかしうなつかしく各陽  
 04 07 13 めてたきけたかき各陽  
 04 07 14 むかしにむかしにも陽穂哈  
 04 07 14 御心はへも御心も穂  
 04 07 14 きこえさせまほしけれときこへまほしけれと  
 各穂玉きこゑ給はまほしけれと陽哈  
 04 08 01 うたてとつたても穂  
 04 08 01 おほざるへしおほされぬへく穂おもほざる  
 へし哈  
 04 08 01 ひとときはひと各ひとつ陽哈ひ(と)へ  
 穂  
 04 08 02 ねむしかへして念して哈  
 04 08 02 たナシ陽  
 04 08 02 思ひかけぬおもひかけぬさまの各陽  
 04 08 02 あたり侍もあたるも穂  
 04 08 02 おもふ給へあはするおもひ給ひあはする各  
 陽穂おもひ給ひおもひ給陽 思給穂 思た  
 まへあはする玉哈  
 04 08 03 ことの事各玉ナシ陽穂  
 04 08 03 になむそらもかみそら穂  
 04 08 03 おそろしう侍おそろしうおもひたまへられ  
 侍各陽おもひたまへられおもひ給へられ陽  
 おそろしう思給ふる穂をそろしうおほえ侍  
 る哈  
 04 08 04 なしてもなりても各陽穂  
 04 08 04 御世にたに御かたに各玉御よたに陽穂  
 哈  
 04 08 04 ことなくのとけく穂

04 08 05 官もみや穂  
 04 08 05 みなナシ陽  
 04 08 05 おほしじらるることじあればおほす事しあ  
 れは各哈おほす事ともあは陽おほすこと  
 あれば穂おほしたるかことしあれば玉  
 04 08 05 うききてうききても玉  
 04 08 05 きこえやり給はすゑきこへ給はす各陽玉  
 哈きこゑ給はす穂  
 04 08 06 大将ナシ陽  
 04 08 06 よろつの事がきあつめよろつ各よろつを  
 陽よろつの事は穂よろつのことをかきあ  
 つめ哈  
 04 08 06 おほしうけておもほしうけて哈  
 04 08 06 なき給へるうちなきたまへる各陽哈うちな  
 けきたまふ穂  
 04 08 06 けしき御気色各  
 04 08 06 いとナシ陽穂  
 04 08 06 なまめきたりなまめき給へり各哈なまめ給  
 へり穂  
 04 08 07 御山に御やまへなん各陽  
 04 08 07 まいりまつて各  
 04 08 07 侍を侍陽  
 04 08 07 御ことつて御事つけ玉  
 04 08 07 きこえ給にのたまふに穂  
 04 08 07 とみにとみにも陽  
 04 08 07 きこえ給はすゑきこへ給はす各陽玉哈のた  
 まはて穂  
 04 08 08 はりなくいみしう各陽哈わりなう穂玉わ  
 りなく玉いみしく哈

04 08 御けしき御けしき穂けしき哈  
04 08 あるはかなしきあるはかなき陽あるはかなしきはかなき(哈)

04 08 よのはてを世のはてと各よのはてに陽

04 08 そむきしかひもそむきしかひもか力穂

04 08 なくなくそふるなくなくそふる哈

04 08 おほしあつむるおもほしあつむる玉哈

04 08 事ともこととも各哈こと陽事とも穂

04 08 えそえ陽

04 08 つつけさせつけ各陽穂哈

04 08 給はぬ給はず陽

04 08 いて給ふまかて給各陽玉まかて給陽ま

04 08 ふてたまふ穂まかりて給哈

04 08 御ともに御共の人各陽御ともに人穂御とも人哈

04 08 たナシ各穂

04 08 はかりはかりして陽ナシ穂

04 08 しも人もしもの人ともた各しも人た陽しものひとも穂哈

04 08 かきりしてかきりに石しノ上カラにヲ書ク陽

04 08 御むまにてそ御むまにて陽穂哈

04 08 おはするおはするさま各陽穂哈

04 08 さなるさならぬ陽

04 08 御ありき御ありさま各おほんあるき陽

04 08 13 ことなりみなナシ玉

04 08 13 みないとナシ穂

04 08 13 かなしうかなしく各陽かしと穂かなしと哈

04 08 14 思なりおもふ各陽穂玉哈

04 08 14 なかに中にも各陽穂玉なかにも穂玉中に哈

04 08 14 みそきいそき各御みそき陽まつり穂

04 08 14 かりのかちの各

04 08 14 みすいしん御隨身各穂すいしん玉

04 08 14 つかうまつりしつかうまつりたりし穂つかうまつりし玉

04 08 14 右近のそう右近せう各右のさう陽右近穂右近のそ(右)将監(玉)右近のせう哈

04 09 01 うへきうき陽

04 09 01 かうふりもかうふりの各哈かふりの哈

04 09 01 ほとすきする程もすきする各哈ほとすきたる陽ほとのみすくる穂

04 09 01 つるにナシ各

04 09 01 みふた御ふた各

04 09 01 けつられけつられ各けつられて陽哈けつられけつられつつかさもけつられつつかさも

04 09 01 けつられ二後補抹消符号アリ玉けつられつつかさも

04 09 01 つかさもつかさもはノ上カラをヲ書ク皆つつかさ穂

04 09 02 とられてはしたなければとけていしたなければ各哈いしたなければはしたなければ哈

とられぬれはいとはしたなければ陽

04 09 02 かものしものみやしろを賀茂のしもの御やしを各かものしもの宮しろ陽

04 09 03 みはたすみたまふ各陽穂みわたす玉哈

04 09 03 ふとナシ陽

04 09 03 おもひいてられてものおもひいてられて各陽穂哈思いたされて玉

04 09 03 おりてナシ玉

04 09 04 あふひかさしあをいかさし陽

04 09 04 おもへはつらしおもへはかなしつらし各

04 09 04 いふをきこゆれば各穂哈

04 09 05 人より人よりも各ひとよりは穂

04 09 05 けにはなやかなりしいはえたりし各ことなりし陽けにはえたりし穂哈

04 09 05 おほすも心くるしおほさる各陽おもふも心くるし穂

04 09 06 みやしろのかたおかみ給ナシ陽

04 09 06 みやしろの御やしろの各

04 09 06 かたおかみ給方をおかみたてまつり給て各かたにをかみたまふ哈

04 09 06 まかり申し給ふまかりまつしたまふ各まかり申給陽穂玉

04 09 07 とまらむとまらぬ各とまららん玉

04 09 07 まかせてとのたまふまかせてとはなうちかみ給を各まかせてはなうちかみ給入る陽哈

「給入るたま入るも哈」

04 09 08 さまナシ各哈さまを陽玉さまも穂

04 09 08 わかき人にてわか人にて穂玉  
 04 09 08 あはれにめてたしとみたてまつるおもひき  
     こゆ各陽 おもふ哈  
 04 09 09 御やま御てら各陽穂哈 みてら陽穂  
 04 09 09 まつて給てまいり給て各穂をはしまして  
     陽  
 04 09 09 おはしましむかしおはしまし各陽穂哈  
     「おはしましをはしまし」陽穂哈  
 04 09 09 御ありさま各御さまの陽御有さまな  
     との穂御ありさまの玉御ありさまな  
     哈  
 04 09 09 た」ナシ穂  
 04 09 09 やつに様に各  
 04 09 09 おほいてらるおほいてらる」陽おほこ  
     いてられて穂  
 04 09 10 かきりなきにてもかきりなけれと各陽穂  
     哈  
 04 09 10 なりぬるなりにける各  
 04 09 10 人そ人はかりヨイカ」穂人は哈  
 04 09 10 いはむかたなくちおしきわさくちをしう  
     いはんかたなきものは穂  
 04 09 11 なりけるなかりけり穂なりけり哈  
     哈  
 04 09 11 よろつことをよろつ事各穂よろつ事を  
     あらはに陽  
 04 09 11 申給ひても申給にも穂  
 04 09 11 そのことほりをあらはにこのことほりをえ  
     ねは各玉哈 つけたまはねは多つけ給はりたまは  
     ねは各玉哈 つけたまはらねは穂

04 09 12 おほしのためはせしの給はせし各穂 給はせ  
     し陽  
 04 09 12 さまのの御ゆいこんはさきくの御ゆい  
     こんも陽 御ゆいこんは穂さまのの御ゆい  
     こんも玉さまの御ゆいこんは哈  
 04 09 12 いつちかいつち穂  
 04 09 12 きえうせにけんゆきにけん陽きえにけん  
     穂  
 04 09 13 いふかひなしいふせうかなし各哈 おもふも  
     かなし陽  
 04 09 13 御はかは御はかまは陽  
 04 09 13 草草も陽  
 04 09 13 しけくなりてしけうなりて各穂しけりて  
     玉  
 04 09 13 ほとほとの陽玉  
 04 09 13 いとといと穂  
 04 09 14 月もかくれて月も雲かくれて各陽穂哈 月雲  
     かくれて玉  
 04 09 14 もりのナシ陽  
 04 09 14 こふかくこちたつ各こくらつ陽 ナシ穂こ  
     ふかつ哈  
 04 09 14 心すこし心ほそし各陽哈  
     哈  
 04 10 01 なきしらぬ各穂哈しらぬ各  
 04 10 01 心して心地して各陽穂哈  
 04 10 01 御をもかけ御おもかけの各陽穂哈  
 04 10 01 さやかにけさやかに各穂  
 04 10 01 みえ給へるふとみえたまへるも各ふとみえ

04 10 01 そろさむきそろさんき玉  
     哈  
 04 10 02 なりなる陽  
 04 10 03 なきかけやなきかけも穂  
 04 10 03 いかみみるむいかねかみゆらん各  
 04 10 03 なかむる月もなかむる月の陽  
 04 10 04 ほとナシ穂  
 04 10 04 かへり給ひてかへり出給へり各穂哈 かへり  
     ハ出給へり各返り給へり陽  
 04 10 04 春宮にも東宮に各陽玉哈  
 04 10 04 御せうそこ御せうそく陽穂哈  
 04 10 04 きこえ給申給各陽  
 04 10 04 御かはりにて大宮の御かはりにて各陽穂  
     哈 大宮の御かはりにて玉  
 04 10 05 御つほねにとつほねにと玉哈  
 04 10 05 けふなん今日よりなん玉  
 04 10 05 みやこ宮こを穂  
 04 10 05 はなれ侍又ははなれ侍ぬるいまひとたひ各陽  
     哈 はなれ侍よしけいし給へまたも穂  
 04 10 05 まいりはへらすまいらす穂哈 まいり侍らす  
     「ん」上カヲすヲ書ク」玉  
 04 10 06 なりぬるなりぬるのみ各陽なり侍りぬる  
     哈  
 04 10 06 なんナシ玉  
 04 10 06 おもふ給へられ侍おもひ給へられ侍ぬると  
     各おほえたまふ穂 思給えられ侍玉 思給ら  
     れはへる哈  
 04 10 06 よろつた」穂よろつつを玉

04 10 07 けいたまへ けい たま元墨ヨヨシ玉  
 04 10 09 ちりすきたる ちりたる穂  
 04 10 09 つけ給へり つけてまいらせ給へり各哈さし  
 給へるを陽 つけてまいらせ給ゑるを穂 つけ  
 給えりを玉  
 04 10 09 おさなき はかなき啓  
 04 10 09 御心ちにも 御心に陽 御心ちに穂  
 04 10 10 おはします をはしますに穂を はします  
 哈  
 04 10 10 御返いか 御かへりはいか 各哈 いか  
 陽 いか 御返は穂 御かへりいか 玉  
 04 10 10 ものし給らむ ものし侍らん各陽玉 哈 ナシ  
 穂  
 04 10 10 みぬ まいらぬ陽玉  
 04 10 11 恋しきものを くるしきものを各穂 恋しきに  
 陽 いとくるしきものを 哈  
 04 10 11 とをくは とをつては穂  
 04 10 11 ましていかに ましていかにこひしからん  
 各ましていか 陽 いかにまして恋しからん  
 穂 いか恋しからん 哈  
 04 10 11 のたまはず のたまはずは各陽玉 のたまへ  
 (ふ)を穂  
 04 10 11 ものはかなの あなはかなの穂  
 04 10 11 御返やと 御かへりやと各玉 御かへりや  
 陽  
 04 10 12 あはれに ナシ各穂 あはれと陽  
 04 10 12 御心を おほん御心を陽 心を穂  
 04 10 12 くだき まとはし穂 つくさせ玉  
 04 10 12 給ひし 給へりし各

04 10 12 むかしの ことおり 御ありさまをり  
 を穂  
 04 10 13 御ありさま 御ありさまを 哈  
 04 10 13 思つ けらるゝにも 思ひつ くる各おもひ  
 つ くるにも穂 おもひつ けらるゝに玉 思  
 つ けらる 哈  
 04 10 13 ものおもひなくて おもふことなくて穂  
 04 10 13 すくいたまひつ へかりける すくし給ふへか  
 りける各 すくし給へかりし陽穂 すてたまふ  
 へかりける 哈  
 04 10 14 よを 陽  
 04 10 14 おほしなけけるを おほしなやみけるも各  
 陽 哈 おほしなけけるも穂  
 04 10 14 くやしうくやしく穂  
 04 10 14 わか心ひとつに わか心に各陽 哈  
 04 10 14 か くらむ まかせけむ各穂 哈 まかせける  
 陽 かえらん玉  
 04 10 11 やうにそ様に各 やうに穂  
 04 10 11 おほゆる おほゆる各 おほゆるを穂  
 04 10 11 御返は 御かへりは各玉 御返には穂 哈  
 04 10 11 きこえさせやう侍らす きこえさせやう侍らす各  
 陽 きこえさせ侍らす穂 きこえさせやう侍らす  
 玉 きこえさせやう侍らすなん 哈  
 04 10 11 おまへ 御まゑ各穂玉 哈 御せん陽  
 04 10 11 心ほそけに 心くるしけに陽  
 04 10 11 おほしめしたる おもほされたる各 哈  
 04 10 11 御けしきも 陽 御けしきにも穂  
 04 10 11 いみじく いみじくのみ各陽 哈 いみじく  
 いみじく 陽 いみじく穂

04 11 02 なむと なた穂  
 04 11 03 心の 心各穂  
 04 11 04 ちるはつけれと ちるはつけれと 哈  
 04 11 04 花のみやこを 花のみやこを玉  
 04 11 04 あらはと あらはとのみ各 哈 あはれと  
 穂  
 04 11 05 なこりも なこり穂  
 04 11 05 ものかたりをしつ 事をいひつ 各陽 哈 物  
 語しつ 穂 物かたりをいひつ 玉  
 04 11 05 ひと宮のうち ひとみやの中各 宮のうち 陽  
 穂 宮の中穂  
 04 11 05 しのひて みなしのひて 各しのひて みな  
 哈  
 04 11 06 ひとめも ナシ各穂  
 04 11 06 みたてまつれる人は みたてまつるかきりの  
 人は各 哈 みたてまつるかきりは陽 みたてま  
 つりなれたる人 には穂  
 04 11 06 おほしくつを れぬるよをおほしなけきくつ  
 をるよ 上カラクヨ書ク陽  
 04 11 06 御ありさまを 御ありさまを 哈  
 04 11 07 なけきおし みおしみなし各陽  
 04 11 07 きこえぬ人 きこえぬは陽  
 04 11 07 つねに あけくれ各陽  
 04 11 07 まいりなれたりしは まいりつかふまつりな  
 れきこゆるは たかきみしかきとも いはず各陽  
 哈 つかふまつり つかふまつり 及び 各 及び  
 きこゆる人 陽 まいりつかうまつるは  
 いはず穂  
 04 11 07 しりをよひ給ましき しりおよひ給ましき

04 11 08 おさめをとめ穂  
 04 11 08 みかはやうとみかのはちなとやうの物陽み  
 04 11 08 かはやう穂みかはやなうノ上カラなヲ書  
 04 11 08 しはしにてもしはし去ヨイカ「穂  
 04 11 09 おもひなげきけりおもひなげきたることは  
 04 11 09 おほかたのおほかた穂玉  
 04 11 09 世の人よ人陽  
 04 11 09 たれかはたれか各  
 04 11 10 よろしくよろしう各陽哈をしみ穂  
 04 11 10 思ひきこえんおもひきこへたる人のあら  
 04 11 10 各陽きこえぬ穂おもひきこゆるあらん  
 04 11 10 なつになり給し七さいより陽  
 04 11 10 このかみこなた各陽穂哈このかた玉  
 04 11 10 おまへに御前に各玉御まへにのみ陽御ま  
 04 11 10 各陽  
 04 11 10 よるひる夜ひる穂  
 04 11 11 さぶらひ給てさぶらはせ給て穂  
 04 11 11 そつし給露はかりもそつし給各陽そつし給  
 04 11 11 事のこと各事陽の陽  
 04 11 11 ならぬはならぬはノ上カラぬヲ書クカ「  
 04 11 11 このそ穂  
 04 11 11 かならぬからん歎(づ)ぬ玉  
 04 11 11 人なくひとわなくわ力「穂

04 11 12 なく御とくをよるこはぬナシ哈  
 04 11 12 御とくを御とくと各陽穂  
 04 11 12 よるこはぬやはよるこはぬや各よるこはぬ  
 04 11 12 人は陽玉やはやはは陽「悦たてまつり  
 04 11 12 ありしな(か)ありしな(か)ヲあ二直シ、サラ  
 04 11 12 やむことなき(あ)やふん(づ)ことなき各ナシ  
 04 11 12 穂  
 04 11 12 二あヲ傍記「陽ナシ穂  
 04 11 12 かわたちめかたのちかんたちめ玉  
 04 11 12 などの中にもおほかりなとまで各陽なとま  
 04 11 12 (て)の(な)かにもおほかり穂  
 04 11 13 しもはかすしらぬをしもはたいふへきにも  
 04 11 13 各陽哈しもまてかすしらぬ(ま)力「  
 04 11 13 穂  
 04 11 13 思ひしらぬにはあらねとさしあたりてナシ  
 04 11 14 穂  
 04 11 14 よを世の穂  
 04 11 14 思はかりてはかる程各おほしはかり  
 04 11 14 てひとくまかゝるほど陽人くまかゝるゝは  
 04 11 14 「ヨイカ」穂はかりてかゝる程哈  
 04 11 14 まいりよるもまいりよる人も各哈  
 04 11 14 おしみきこえかなしひあはれかりきこへつ  
 04 11 14 各八ひ力「各哈あはれかりかなしひつゝ  
 04 11 14 陽あはれかりきこえ穂  
 04 11 14 したにしたには各陽玉哈したひはにノ上  
 04 11 14 カラひヲ書ク「穂  
 04 12 01 そしりうらみたてまつれとそしりうらみた  
 04 12 01 てまつれとも各そしり陽うらみそしりたて

04 12 01 まつれと穂  
 04 12 01 まいらむにもまいりても穂まいらせんも  
 04 12 02 哈  
 04 12 02 おもふにやおもふに穂思にやと玉  
 04 12 02 おりはおりには各陽  
 04 12 02 人わろくひとわろくノ上カラヲ書ク「  
 04 12 02 各人わろくそ陽人はろつ穂  
 04 12 02 世中はよは各哈よを陽世なかは穂  
 04 12 03 かなナシ陽玉  
 04 12 03 とのみと穂とのみにノ上カラヲ書ク「  
 04 12 03 玉  
 04 12 03 よろつにつけてナシ陽よろつにつけて  
 04 12 03 哈  
 04 12 03 おほすおもほししるも八補入力各おほ  
 04 12 03 しる陽おもひしる哈  
 04 12 03 女君に御ものかたりのとかに女君と物かた  
 04 12 03 陽女君に御物語穂女君にものかたりのと  
 04 12 03 かに哈  
 04 12 04 くらし給てくらして穂  
 04 12 04 れいのよぶかくよぶかくそ各陽玉哈「よ夜  
 04 12 04 陽玉哈「れいの夜ぶかく穂  
 04 12 04 いて給いてたち給各哈  
 04 12 04 かりの御そなとたひの御よそひかりの御す  
 04 12 04 各陽哈かりの御よそひなとたひすかた  
 04 12 04 穂  
 04 12 04 いたくいたう各穂哈  
 04 12 05 やつし給て(あ)やつしたまいて各やつれ給  
 04 12 05 穂  
 04 12 05 けりなけり穂

04 12 05 いてゝナシ玉  
 04 12 05 みたにをくりみをくり各陽 みたれにをくり  
 穂  
 04 12 06 おほくつもりにけりとおほかりけりとのみ  
 陽  
 04 12 06 おほえむとすらんおほえ侍らんとすらん  
 陽 おほえんすらん穂  
 04 12 06 ひとひふつか 一二日にも各 一二日陽玉  
 哈  
 04 12 06 たまさかにまれに陽  
 04 12 06 へたゝるへたつる各陽穂哈  
 04 12 07 おりほと各哈 ナシ穂  
 04 12 07 あやしうあやしく陽哈 あやしきく陽  
 04 12 07 ものを 物を陽  
 04 12 07 はしにはしのかたにせめて陽哈  
 04 12 07 いさなひきこえ給へはおはす各  
 04 12 08 女君 女君各 ナシ陽  
 04 12 08 なきしつみたまへるを なきしつみておはす  
 るを各陽哈 なきしつみ給へる穂玉  
 04 12 08 ぬさりいて給へるいさりいて給へり各  
 哈  
 04 12 09 いみしういみしく穂哈  
 04 12 09 みたまへりみ給へるをみ給に各陽哈 みに給  
 にみ給へ 陽 いたまへり見たまふる穂  
 04 12 09 わか身 我世に穂  
 04 12 09 かくてやかてかく各陽 やかて穂哈  
 04 12 09 よをよに各玉哈 ナシ陽  
 04 12 09 わかれなは わかれならば陽

04 12 09 いかなる いかならん穂  
 04 12 10 さまにそらに各よに陽穂 うらに哈  
 04 12 10 さすらへさすらへ ひと上カラヘヨ書ク  
 各  
 04 12 10 うしろめたくうしろめたう陽穂  
 04 12 10 おほしいりたるにいみしうのみをほしたる  
 各各哈のみ ナシ哈 いみしうのみおほした  
 るに陽 いみしくおほしたるに穂  
 04 12 12 かきりけるかな かきりつるかな穂  
 04 12 12 はかなし ナシ陽  
 04 12 12 なとなくといと穂  
 04 12 13 給へは たまふ穂 給えと玉  
 04 13 01 おほざるらむ おほすらん各陽  
 04 13 01 あけはてなは あけはては哈  
 04 13 01 はしたなかるへきによりはしたなかるへけ  
 れは陽 いとはしたなかるへきにより穂  
 04 13 02 いて給ぬいて給ぬふノ上カラぬヨ書ク皆た  
 ちていて給ぬ穂  
 04 13 02 道すからおもかけに みちすらもおもかけ  
 各道すからをもかけ穂  
 04 13 02 むねも 御むねも各 むね穂玉哈  
 04 13 02 御ふね ふね各陽  
 04 13 03 ころなればころなるに各哈 ころにて  
 陽  
 04 13 03 そひてよくて穂  
 04 13 03 またいまた陽 ナシ穂  
 04 13 04 みちにても 御みちにても各 道にも穂  
 04 13 04 たひを たひに穂  
 04 13 04 給はぬ心ちに 給はねは各陽 給はぬに穂 た

まはぬ御心に哈  
 04 13 05 おかしさもをかしさ穂  
 04 13 05 おほえとのとおほえと各 大ひ殿とひ八  
 江ヲ日ト誤写シタカ 陽 おほえと玉  
 04 13 05 いひける いふ穂  
 04 13 05 いたういといたく各  
 04 13 05 松はかりそ 松はらそ陽穂  
 04 13 06 しるしなる しるしなりける各哈  
 04 13 07 名をのこしけるなをのこしけん陽哈 なをと  
 ゝめけん穂  
 04 13 07 いへるをやせむ いゑるをやせむを力と力  
 穂  
 04 13 08 なみ ふね各  
 04 13 08 かつ ナシ穂  
 04 13 08 み給て みたまふにも各 みに給も陽 みたまふ  
 ても哈  
 04 13 08 うちやましくも うちやましくも ちうノ上  
 カラクヨ書ク 陽  
 04 13 08 うちすしたまへるさま うちすんし給へるも  
 各うちすんし給陽 すんし給へる穂 うちす  
 んし給える玉 うちすんし給へ(り)哈  
 04 13 09 めつらうめつらうのみ各 めつらうく穂  
 哈めつらうきう玉  
 04 13 09 かなしとかなしう各陽  
 04 13 09 のみ ナシ陽  
 04 13 09 御ともの おほんとの哈  
 04 13 09 人ノ人ノも各陽 玉ひとは穂哈  
 04 13 09 おもへりうちかへりみたまへるにおもふと  
 ちかへりみ給へるに各 おもふ京を返み給

えは陽おもふうち返みたまふに穂おほゆう  
ちかへりみ給に哈

04 13 10 かすみはるかにてはるかにかすみ各はるか  
にかすみて陽かすみこめて穂

04 13 10 三千里三千里三力玉

04 13 10 ほかのほかなる穂

04 13 11 心ちするに心ちす穂

04 13 11 しくもしく各陽穂

04 13 12 なかむるそらはなかむるかたは各

04 13 13 もの事各哈所陽

04 13 13 おはすへきおはしますへき各陽おはす

玉

04 13 13 ゆきひらの中納言のゆきひらの中納言

各

04 13 13 わひけるわひけん玉

04 13 14 いへるい系各穂(い系)穂

04 13 14 わたりなりけり所也穂

04 13 14 すこけなるすすこけなる先出すヲ削ルカ

玉

04 13 14 山中なり山のもとなり各やまのきはなり

陽山のなかわたり也穂山のつらなりとも

哈

04 14 01 さまさまなと穂

04 14 01 めつらかにさまことめつらに各陽哈め

つらつらめつらしく陽さまことめ

つらし穂

04 14 01 み給ナシ穂

04 14 01 かやよともかやよともノ上カラ先出ヤヨ

書ク「陽かやよとも穂か(か歟)やよとも

「本行か八にトモヨメル」玉

04 14 01 ほうめくほうたつ穂

04 14 02 おかしうおかし各

04 14 02 しつらひなしたりつくろいなしたり各哈つ

くろいたり陽つくろいなしたり穂

04 14 02 御すまひおほんすまひ陽

04 14 02 やうかはりてやうはなれ穂

04 14 02 かゝらぬおりならばかゝるをりならずは穂

玉

04 14 03 おかしうもおかし各

04 14 03 ありなましとありぬへしと陽ありぬへし

穂

04 14 03 御心のすさひ御心すさひ各御すさひも

陽御心のすまひもま力玉御心のすさみ

も哈

04 14 03 おほしいつおほしいてらる各陽哈おほしお

もほし哈

04 14 03 所ノノ所ノ各哈

04 14 04 みさつみしやう各御庄穂哈御さつ哈

04 14 04 つかさつかさと各哈あつかりと各陽司

ノノ穂

04 14 04 ことよまなと事おほす穂事とも玉ことよ

もおほせ哈

04 14 04 したしきむつまじき各陽穂哈

04 14 05 おほせをこなふもをきつるも穂

04 14 05 いといと各陽ナシ穂

04 14 05 しなさせ給つくろいなさせ給各穂哈

04 14 05 ふかうふかく各陽穂哈

04 14 06 やりなしやま(り)なかつ玉

04 14 06 うへきともなとしてうゑきとんなとしつ

各うゑ木ともなとしわたして陽哈ともナ

シ哈(うゑ木なとして穂

04 14 06 しつまり給ふしつまりわたし給陽しつまら

せ給穂

04 14 06 心ちこちも各心哈

04 14 07 との人人各

04 14 07 たひ所ともなうたひともなく各陽哈たひと

なう穂

04 14 08 人さはかしかれとも人さはかしかれと各陽

穂哈

04 14 08 はかしくはかしく各陽穂哈

04 14 08 人しなれば人しまいらねは各哈人もなし

陽

04 14 09 心ち心ちのみ陽

04 14 09 むもれいたくうもれいたう陽穂哈むもれい

たう穂うもれいたく哈

04 14 09 とし月をとし月陽

04 14 09 すくさましとすくさんと各へんとすらんと

のみ陽すくさんこと穂すくさむとすらむと

哈

04 14 09 おほしやらるおもほしやらる各おほしやる

哈

04 14 10 しつまりゆくにしつまりゆくまに陽

04 14 10 なかあめなかめ玉

04 14 10 事も事なと各事とも陽哈こと穂

04 14 10 おほしやらるにこいしき人おほく女君のお

ほしたりしおほしやるにこひしき人をほく

女院のおほしたりし哈

04 14 10 おほしやらるゝに おほしやるに陽穂哈 おほ  
 しやらるに玉  
 04 14 11 女君の 女君のありさま各 女院の哈  
 04 14 11 おほしたりし おほしいたりし玉  
 04 14 11 なに心もなく なに心なく陽穂哈 なに心な  
 う穂 なに心もなくノ上カラモヲ書ク  
 玉  
 04 14 12 などを さまなと穂  
 04 14 12 はしめ はしめて各陽穂哈  
 04 14 12 こゝかしこゝかしこを陽玉  
 04 14 12 思ひやりきこえたまふ おほしやりて各おも  
 ひやり給て穂  
 04 14 12 京へ人いたしたて給ふ ナシ陽  
 04 14 12 京へ 京に穂  
 04 14 13 二条院へ 二条のいんに各穂哈 二条のめんへ  
 陽 二条院に哈  
 04 14 13 たてまつり給て きこゑ給陽 たてまつれ給と  
 哈  
 04 14 13 入道の宮のとは 入道の宮へのとは陽 入道の  
 宮とは玉 入道の宮には哈  
 04 14 13 やり給はず やらず穂  
 04 14 13 くらされ給へり くらされ給各哈 やすらひ給  
 穂  
 04 15 01 あまのとまやも あまのとやまも やトまヲ倒  
 置スル符号アリ陽  
 04 15 01 すまのうら人 すまのあま人穂  
 04 15 01 しほたるゝころ もしほたるゝころ穂  
 04 15 02 なかにも 中に陽穂 なかに穂 中にも哈  
 04 15 02 きしかたすきにしかた陽玉

04 15 02 かきくらし かきくらしいみしきに陽哈 かき  
 くらしいみしきなかに穂  
 04 15 02 みきはまさり ナシ各  
 04 15 02 内侍のかみのないしのかみの各 内侍の督  
 の上ノ上カラ督ヲ書ク陽 ないしのかんの  
 とのに穂  
 04 15 02 御もとに 御もとには各陽玉哈 ナシ穂  
 04 15 03 中納言の君の 中納言のきみには各 中納言君  
 のもとに陽玉哈 中納言君 中納言の君玉哈  
 中納言の君に穂  
 04 15 03 わたくしこと わたくしの事各穂玉  
 04 15 03 中なるに なかなるに各穂玉 中に陽  
 04 15 03 すきにしかたの すきにしかた各  
 04 15 04 思給へいてらるゝ おもひいてらるゝ各穂 お  
 もふ給へいてらるゝ陽  
 04 15 04 つけても つけて各も陽 つけて穂玉  
 04 15 05 うらのみるめ うらのみるめも各陽玉  
 哈  
 04 15 05 しほやくあまや しほやくあまの玉  
 04 15 05 いかゝおもはん いかに思はん哈  
 04 15 05 さまノさまノ 各陽穂玉哈  
 04 15 06 かきつくし給 かきつくし給ハる哈  
 04 15 06 ことは ことは陽 こと哈  
 04 15 06 大殿にも 大將い殿にも陽 おほとんには穂  
 04 15 06 宰相のめのとにも さいしやつめのとに  
 各 宰相のめのとのもにハる  
 04 15 06 つかまつる つかまつる各よくノつかう  
 まつる陽哈 よくノよくハる

04 15 07 事なとかきつかはす ことかきてつかはす  
 各さまいひつかはす陽哈 よしなとかきてつ  
 かはず穂  
 04 15 07 御ふみ 御文を陽哈 御文とも玉  
 04 15 07 所ノゝに ところノ各陽哈  
 04 15 07 み給ひつゝ み給て各陽玉  
 04 15 07 みたれたまふ まとはす各まどふ穂  
 04 15 08 人ノゝのみ人各人ノも陽 人のみ穂玉  
 哈  
 04 15 08 二条院の君は 二条のめんには陽  
 04 15 09 さまに まゝに哈  
 04 15 09 人ノも人ノ陽  
 04 15 09 こしらへわひつゝ こしらへわつらひて各こ  
 しらへわひたてまつりつゝ陽 こしらへきこ  
 ゑわひつゝ穂 こしらへきこ入わつらひつゝ  
 哈  
 04 15 09 心ほそつ 心ほそくのみ各こゝろほそく  
 哈  
 04 15 10 もてならし もてつかひ各陽玉 もてつかへ穂  
 哈 もてつかへハる哈  
 04 15 10 御てつとゝも 御てつと各陽哈 御てつとゝも  
 穂  
 04 15 10 給ひし御ことぬきすて ナシ穂  
 04 15 10 給ひし 給へり哈  
 04 15 10 御こと 御事とも各  
 04 15 10 給つる 給し各 給ハる陽穂玉哈  
 04 15 10 御その 御そのも穂  
 04 15 11 などに なんとに各

04 15 11 ながらむ人のやうになくなりたらん人を  
 もはんやうに陽 ながらん人の様に穂 なくな  
 り給へらん人のやうに哈

04 15 11 のみ ナシ陽穂玉

04 15 11 かつは いと各陽 ナシ穂 かつはかく玉

04 15 12 ちゆゝしうてゆゝしうおほえて各ちゆゝしうて  
 かつはかくおほしなげく陽 いとちゆゝしうて  
 哈

04 15 12 少納言はそつに御いのりの事なときちゆゝそ  
 つは御いのりのことなと少納言はちゆゝそ  
 穂

04 15 12 そつにそつに陽

04 15 12 事 ナシ各

04 15 12 きこゆふたかたにみすほうなとせさせ給き  
 こゆれはすほうなとかたノにして陽 きこ  
 ゆれはふたかたに修法みすほうなとせさせ  
 たまふ哈

04 15 12 みすほう 御すほう各穂

04 15 13 かつは ナシ穂

04 15 13 おほしなげく かくおほしまと各穂 かくお  
 ほしなげく陽哈 おほし おまほし哈

04 15 13 御心 御心を陽 御心をも哈

04 15 13 しつめ給ひて なくさめ陽哈 しつめたまへと  
 の事ヨイカ穂

04 15 13 思ひなき たひらかにもこのことくおもひな  
 き各 またもとの事くおほすさまに陽 又もと  
 の事ノ たひらかにおほすさまに哈

04 15 13 よに かに各 ナシ陽哈

04 15 13 あらせたてまつり給へとあはせたてまつり

04 16 14 給へなと各 返給へきさまになと陽哈 なさせ  
 給へと穂

04 15 14 心くるしき 御心くるしき玉

04 15 14 まゝにさまに哈

04 15 14 いのり申給いのり申させ給各

04 15 14 てうして ナシ各 して陽 てうし玉

04 15 14 たてまつり たてまつれ各

04 16 01 給 給に各陽哈

04 16 01 かとりの かりの玉

04 16 01 さしぬき さしぬきをし給て各哈を など哈  
 さしぬきなとかれいに くれニミセケチカ  
 陽 さしぬきをしたてゝ穂

04 16 01 かはりたる かはる玉

04 16 01 心ち 心ちの陽 御心ち哈

04 16 02 かくみと かくみのと各陽玉 かくみにと穂  
 哈

04 16 02 のたまひし 入給せのノ上カラ入ヲ書ク各の  
 給しも陽

04 16 02 おもかけのけに身にそひたまへるも けにお  
 もかけさらぬ心ちすれと陽 おもかけはけに  
 身にそひたまへれと穂 おもかけのけにそひ  
 たらん心ちすれと哈

04 16 02 そひたまへるも そひたらん心ちするも ノ  
 上カラたヲ書ク各

04 16 02 かひなし かひもなし穂

04 16 03 なたより なたよりはしめより哈

04 16 03 むたまひし ね給し各

04 16 03 まきはしら はしら陽

04 16 03 なとを など各穂

04 16 03 みたまふにも み給も各陽哈

04 16 03 ふたかりて ふたかり陽

04 16 03 ものをとかう ものをとかく各陽玉哈 ナシ  
 穂

04 16 04 しほしみる しほしみる玉

04 16 04 よはひの よわいの はノ上カラわヲ書ク陽よ  
 しひの玉 ナシ哈

04 16 04 人 ぼと各

04 16 04 なれむつひきこえ なれむつひきこへて各な  
 れむつひきこえ 給て陽なれむつひきこえ  
 給ひ哈

04 16 05 ちゝはゝにちゝはゝに各陽哈

04 16 05 なりて ナシ穂 なりつゝ哈

04 16 05 おほしたてならはし あつかいきこえおほし  
 たてならはしきこえ陽

04 16 05 給へれは 給へは各

04 16 05 こひしう こひしと各穂 にはかにひきわかれ  
 て恋しく陽哈 こひしく玉

04 16 05 思ひきこえ給へる おほしなげくも各おもひ  
 きこえ給陽穂 思ひきこえ給入り哈

04 16 06 ひたすら世に 中ノひたすら陽 ひたすらに  
 よに穂 中ノひたすらよに哈

04 16 06 いはむかたなくて ゆふかいなきにてか陽ゆ  
 ふかひなくて穂哈 いふかひなくて哈

04 16 06 やうノ ナシ穂

04 16 06 わすれくさもおひやすらん わすれ草をひや  
 せん陽 わすれくさもおひやすらん哈

04 16 07 かきりある かきれる陽

04 16 08 あらてあらてと各陽 あらす哈



04 17 08 御返 御かへり陽  
 04 17 08 なれば なりければ穂  
 04 17 09 おほくて おほくてうちなけれぬ各  
 04 17 10 よるのころを 夜ひのころを 哈  
 04 17 10 ものゝいろものゝ色(いろ)陽  
 04 17 11 いと いみしう陽 哈 いみしく 哈  
 04 17 11 きよらなり けつら世  
 04 17 11 なにこども なにこども穂 哈  
 04 17 11 うつ／＼しう／＼しう／＼しう各玉 哈 いみしう  
 うつ／＼しう／＼しうノ上カラハ書ク陽  
 04 17 11 給ふを 給に各  
 04 17 11 おもふさまにて 上ノ書クも歎(ぶ)さまにて  
 「な力」玉  
 04 17 12 こと／＼に ことに各陽穂 哈  
 04 17 12 心あはたしう 心あはたしう各陽穂  
 哈  
 04 17 12 ゆきが づつづか づつづか陽  
 04 17 12 かたも かつ各穂 哈  
 04 17 13 おほすに おもほすに 哈  
 04 17 13 いみしう いみしく陽 いみしうて玉  
 04 17 13 くちおしう くちをし穂  
 04 17 13 よるひる 夜ひる穂玉  
 04 17 13 おほえて みえ給て陽 おほしうし力「穂」お  
 ほえ玉 おもほえて 哈  
 04 17 14 たへかたう たえかたく各陽 哈  
 04 17 14 思ひいてられ給へは おほえ給へは各 哈 おも  
 ひいて給へは玉  
 04 17 14 しのひてやし のひて 哈

04 17 14 むかへまし むかへきこえてまし陽 むかへて  
 まし 哈  
 04 17 14 おほす おもほす 哈  
 04 17 14 又またなう各  
 04 17 14 うちかへし ナシ穂  
 04 18 01 なそやかく なんそやかて陽 なそかく穂 ナ  
 シ玉  
 04 18 01 うき世に うきよ世のノ上カラに書ク皆う  
 きよには陽  
 04 18 01 うしなはむと うしなはくやと陽  
 04 18 01 おほせは おほせはにノ上カラおほ書ク「  
 各 おほして陽 おもほせは 哈  
 04 18 01 御さうしん 御しやうし各 哈 御しやうしん陽  
 穂玉  
 04 18 02 をこなひて おこなひ各をこなひをして陽  
 哈  
 04 18 02 あるにも あるも陽穂  
 04 18 02 かなしけれと あはれなれと陽 哈  
 04 18 03 をのつからをのつからも各  
 04 18 03 あひみてん あひみるやうもありなんと陽  
 哈  
 04 18 03 人ノ人各  
 04 18 03 うしろめたうはあらずと 各うしろめたき  
 かたはなしなと陽 うしろめたきにはあらず  
 と穂 うしろめたくはあらずと 哈  
 04 18 04 あらずとおほしなるんは中ノこの道の  
 あらずとおほしなるんは中ノこのみち  
 は 哈  
 04 18 04 この道のまとはれぬにや この道はまとはれ

給はぬにや陽玉 哈 この道のまとはれ給はぬ  
 にや穂  
 04 18 04 あらむ ナシ陽  
 04 18 05 ほとんまきれに ほとん各陽 哈 まきれに穂  
 玉  
 04 18 05 もらしてけり かきもらしてけり陽 哈  
 04 18 05 かの ナシ 哈  
 04 18 05 伊勢の宮へも御つかひさいくうにも御文陽  
 哈  
 04 18 05 ありけり あり各たてまつれ給へりけり  
 上カラハ書ク陽 たてまつり給けり 哈  
 04 18 05 かれこれ各  
 04 18 06 たつねまいれり 御つかひたつねまいれり陽  
 哈  
 04 18 06 かき給へり おほくかき給へり各  
 04 18 06 ふてつかひ ふてつかい陽  
 04 18 07 などは人よりことになとも人よりはことな  
 り各なへての人ならず陽 なども人よりはこ  
 とに穂 哈  
 04 18 07 なまめかしく なまめかしう各穂 哈  
 04 18 07 いたりふかう いうなるへき人と各 哈 人とひ  
 とに 哈 このましき人と陽穂 いたりふかく  
 玉  
 04 18 07 うつ／＼とおもひたまへられぬ おもふにうつ  
 づならぬ各うつ／＼とおもふ給られぬ陽 お  
 もふにいとうつ／＼ならぬ穂 うつ／＼と思た  
 まへられぬ玉 哈  
 04 18 08 御すまゐを 御たひると各 おほんたいを陽  
 哈 御たひるを 哈

04 18 08 うけ給はるもつけ給はるにも各陽穂  
 04 18 08 あけぬ夜のあけぬよの各陽穂玉哈  
 04 18 08 心まとひかと心まとひと哈  
 04 18 08 なんのみなん各陽哈のみ穂  
 04 18 08 さりとともされとも穂  
 04 18 09 とし月とし月は各陽穂玉哈とし月は  
 陽  
 04 18 09 へたてたまはしとへ給はしと各陽穂哈へた  
 まはしかと陽  
 04 18 09 おもひやりおもひやうもふノ上カラもひヲ  
 書クカ各思穂玉  
 04 18 09 さするにもさするに穂さするも玉  
 04 18 10 又ナシ陽  
 04 18 10 ことナシ各  
 04 18 10 はるかなるへけれはるかなるへけれと各は  
 るかなれ陽はるかなるへき身なれば穂はる  
 かなれば玉  
 04 18 11 いせをのあまをいせのあまを哈  
 04 18 11 もしほたるてふもしほたれてう穂玉  
 04 18 11 すまのうらにてすまのうら人陽  
 04 18 11 よろつによろつ哈  
 04 18 12 おもひたまへみたるよおもふ給へみたるよ  
 陽おもひみたるよ穂思たまへみたるよ玉  
 哈  
 04 18 12 よのありさまもなをよのありさまを陽世の  
 ありさまをなを哈  
 04 18 12 なりはつへきにかとなり侍るへき身のありさ  
 まにかとのみなと陽なり侍へきにかと穂か  
 など哈

04 18 14 いふかひなきはゆふかいなきは陽穂  
 04 18 14 我身なりけりうき身なりけり玉  
 04 18 14 ものをあはれと物をあはれに陽ものあはれ  
 に玉  
 04 19 01 うちをきノうちきノ穂  
 04 19 01 かき給へるかひたまへる各哈かき給ける  
 陽  
 04 19 01 からのかみからかみ穂  
 04 19 01 四五まい四五まいにノ上カラ四ヲ書ク  
 陽  
 04 19 02 はかりをを陽玉はかり穂  
 04 19 02 なとなどの各穂などの穂  
 04 19 02 み所ありみ所あれば穂  
 04 19 02 あはれにあはれと各陽穂玉哈  
 04 19 02 人を人柄を哈  
 04 19 03 おもひきこえしおもひし各陽哈おほくえし  
 穂  
 04 19 03 心あやまりに心あやまちに穂玉  
 04 19 03 かの又哈  
 04 19 03 思うしておもひうんして各穂哈おもひくむ  
 して陽  
 04 19 03 わかれ給ひにしとわかれたまふにと穂  
 04 19 04 いまにいまは哈  
 04 19 04 いとおしういとをしく各陽哈  
 04 19 04 ものにすぢには陽すぢに哈  
 04 19 04 思ひきこえ給思ひいてきこえ給各穂哈  
 04 19 04 御ふみ御文なれば各御ふみも穂哈  
 04 19 05 いとナシ陽  
 04 19 05 あはれなればあはれなり各

04 19 05 御つかひさへ御つかひをさへ穂  
 04 19 05 むつましうていとつかしうて各なつか  
 しくて陽穂なつかしうて穂いつかしくて  
 哈  
 04 19 05 すえさせ給てすへ給て陽穂哈すえたまふて  
 哈  
 04 19 05 ものかたり御物かたり陽  
 04 19 06 せさせてせさせ給て陽玉哈  
 04 19 06 けしきあるけしきはみたる各けしきはめる  
 陽穂哈けしきはめる哈  
 04 19 06 さふらひの人さふらひの物陽さふらひ人  
 穂  
 04 19 06 なりけりなり哈  
 04 19 07 かくけちかく各陽穂哈  
 04 19 07 御すまひおほんすまひ陽  
 04 19 08 御さま御ありさま哈  
 04 19 08 かたちをかたち陽  
 04 19 08 いみしういみしく陽哈  
 04 19 08 めてたしとめたたしと哈  
 04 19 08 なみた涙を各  
 04 19 08 おとしをりけりトヨのこひけり各おと  
 してけり陽  
 04 19 08 御返御かへり各陽  
 04 19 09 ことのはと穂ことの葉は玉  
 04 19 09 かくかつ哈  
 04 19 09 はなるへき身はなるへし各  
 04 19 09 思ひたまへましかはおもふ給へましかは各  
 陽思たまへましかは穂玉哈  
 04 19 10 きこえましきこえさせてまし各きこえさせ

まし哈  
 04 19 10 なとなむ など各となん陽穂哈  
 04 19 10 つれ／＼とつれ／＼に陽玉  
 04 19 11 伊勢人の浪のうへくをふねにもつきめはか  
 らてのらましものを「次項ノ又マテ行間補入」  
 陽  
 04 19 11 ものをものを又陽哈  
 04 19 12 あまかつむ あまのつむ各  
 04 19 12 なけきのなかになけきの中に各陽哈なけ  
 きの中に哈  
 04 19 13 ひとつもひとつれとも各ひとつと穂ひとつとも  
 「モノ上カラとヲ書ク」玉  
 04 19 13 侍らぬこそおもふ給へられぬこそ陽哈おも  
 ふ給へ思給へ哈  
 04 19 13 心地し侍れなとそ心ちし侍れなんとそ各  
 哈心ちし侍なとそ穂玉  
 04 19 13 ありけるありける陽  
 04 19 14 ひとつにもおほつかなからすおほつかなか  
 らすいつくにも各ひとつくにもおほつかなか  
 らす陽穂  
 04 19 14 きこえかはし給きこえ給哈  
 04 19 14 おほしけるま／＼におほしけるに陽  
 04 20 01 給へる給ける陽  
 04 20 01 御心ノ御心ノを各穂御文とも人ノの  
 を陽御ふみとも心ノを哈  
 04 20 01 み給ふみ給へは各穂み給には陽哈みたま  
 うは玉  
 04 20 01 おかしきもあはれも各をかしさもあはれさ  
 も陽をかしさもあはれも穂哈

04 20 01 ひとつれもつちみつ／＼ひとつれをもつちみ給つ  
 陽哈ひとつれをもひとつれも哈  
 04 20 02 なくさめ給へとなくさめかつは各陽穂  
 哈  
 04 20 02 もよほしくさもよをし陽哈  
 04 20 02 なめりなり各陽哈  
 04 20 04 けにけにけに各陽哈ナシ穂  
 04 20 05 ついち所ノついちも各所ノついちも  
 陽玉所ノついちも陽ついちも所ノ  
 穂所々のついかきも哈  
 04 20 05 くつれてなむとくつれてなと各穂くつれて  
 と陽玉  
 04 20 05 き給へはき給へは穂  
 04 20 05 もとにもとと穂  
 04 20 06 ちかきくに／＼のちかき各ちかき国ノ  
 のぎやうの陽  
 04 20 06 みさう御さう各穂みしやう陽御庄穂哈御  
 庄みしやうトルカハ  
 04 20 06 なととん各  
 04 20 06 つかうまつるへきよしのたまはずすりなと  
 せさせ給陽とのの修理つかうまつる穂修理  
 の事なとつかうまつる哈  
 04 20 07 かむの君は かの雲はきみ本まトアルラ  
 塗抹陽 かの君穂 かのきみは哈  
 04 20 07 人わらへに 人わつらへに 各人わらわれを  
 陽人わらはれに哈  
 04 20 07 いみしういみしく哈  
 04 20 07 おほしくつるを おほししるを各  
 穂おほきるを陽おほししるを哈

04 20 07 かなしう かなしく哈  
 04 20 08 せちに ナシ各穂  
 04 20 08 宮にも 宮にも申陽哈  
 04 20 08 そうしきこえ穂  
 04 20 08 給ければ 給給ければ陽  
 04 20 08 かきりある なにかはかきりある各陽穂  
 哈  
 04 20 09 宮つかへと みやつかへなと各玉哈 宮つかへ  
 はなと陽  
 04 20 09 おほしなおり おほしなりて陽  
 04 20 09 かの かの人の各陽穂哈  
 04 20 09 ゆへ ゆえに各陽穂玉  
 04 20 10 いかめしき いかめしかりし穂  
 04 20 10 こともとがめも各陽穂玉哈  
 04 20 10 ゆるされ ゆるさせ陽  
 04 20 10 給ひて たてまつりて各  
 04 20 10 まいり給ふへきに まいり給はんに各陽  
 04 20 10 つけても 穂  
 04 20 11 かの かの事のみそ陽哈 かののみそ  
 穂  
 04 20 11 あはれにあはれと穂  
 04 20 11 おほえたまける おほえ給ける各陽穂玉  
 哈  
 04 20 12 御おもひ おほん思ひ陽  
 04 20 12 人のそしりもしろしめされす 人のそしりい  
 はんもしらせ給はす 各人のそしりもしろし  
 めさす陽 ひとのそしりをもしろしめさす穂  
 八そしり力「穂哈  
 04 20 12 うへにつと 内に穂 つとつへに哈

04 20 13 うらみつらみて各

04 20 13 ちきらせ給ちきりかたらはせ給陽哈 ちきり

給玉

04 20 13 御さまかたちも 御さまかたち玉さま御かた

ちも哈

04 20 13 いとナシ各陽玉

04 20 13 なまめかしうなまめかし陽八はしうノ上

カフしく書ク陽哈

04 20 14 きよらなれとけつらなれと穂きよらなれと

も哈

04 20 14 ことのおおほかる事ともおほかり各

04 20 14 心のうちそ御心のうちは各御心のうち御

八虫損ヲ推読陽御心の中に穂御心のうち

そ哈

04 20 14 かたしけなきいとかたしけなし陽いとかた

しけなき哈

04 20 14 御あそひのおほんあそひの哈

04 21 01 いといとノ穂

04 21 01 さうノしけれいかにしてくちをしうさ

つノしけれましていかに各

04 21 01 さおもふ人御おもひ人穂しか思人哈

04 21 02 おほからむおほかるらん穂玉

04 21 02 なに事もなに事にも陽哈

04 21 02 心ち心ちも陽穂哈心ちも陽

04 21 02 するかなとするかなと各陽哈

04 21 02 のたまはせてのたまふはせて玉

04 21 02 院の院哈

04 21 03 御心をたかへつるかな御心はへをたかへきこ

多つるかな陽哈御心はへを御心を哈

04 21 03 つみつみも陽

04 21 03 泪くませなみたくみ各陽玉哈

04 21 03 給に給にも各給入るに陽哈

04 21 03 えねむしたまはずねんし給はす各えねんし

給まし陽穂哈ましまし哈

04 21 04 あるにつけてもあるにつけてもなきにつけ

ても各穂哈

04 21 04 あちきなきつねならすあさきなり各つねな

らすあちきなき陽穂哈

04 21 04 ものなりけれと物はありけれ陽ものなれ

穂

04 21 04 ひさしくよによにひさしく各よに陽ひさ

しうよに哈

04 21 05 あらむあるへき陽哈

04 21 05 ものとなむとなん穂ものと哈

04 21 05 おもはぬおほえぬ各陽哈おほえん穂

04 21 05 なりなむになりなん各ありなんに陽

04 21 05 おほさるへきおほえさせ給へき各おほえ給

へき陽穂哈

04 21 06 ねたけれねたかるへけれ陽玉哈いとねたけ

れ穂

04 21 06 いける世にとはいけるよには玉

04 21 06 けにむ入陽哈

04 21 07 いひをきけむといひをきけんといひ

陽

04 21 07 いとナシ哈

04 21 07 御さまにてものをまことにさまにてもこと

に物に陽哈物に物を哈

04 21 07 あはれとナシ陽穂哈あはれに玉

04 21 08 のたまはするにつけての給はするに事つけ

て陽哈の給はすることにつけて穂のたまは

するにつけても玉

04 21 08 こほれいつれはこほるれば各哈こほれぬれ

は陽

04 21 08 さりやさまやも力穂

04 21 08 につれにいつかたに陽

04 21 08 おつるにかとおつるにからんなど各おつる

ならんと陽哈おつるそなと穂

04 21 09 みこたちのみこたちに陽玉哈みこたちも

穂

04 21 09 トノたまはせしトノ給し各

04 21 10 さまにさまにと陽

04 21 10 事とも事とも陽玉哈

04 21 10 いてくめはいてくれは各いてくれはこ

そ陽いてくめはこそ玉いてくめるこそ

哈

04 21 10 心くるしう心くるしく陽哈

04 21 10 なたナシ各なと陽

04 21 10 御心のほかに御心のまんに陽御心よりほか

に穂

04 21 11 まつりこちなし給まつりこち給穂

04 21 11 人ノ人各玉

04 21 11 あるにあたに穂

04 21 11 所なきほとにて所もなきは陽所もなく

穂

04 21 12 いとおしといとをしう陽哈いとうしと

穂いとをしく哈

04 21-12 おほしたる おほいたる玉  
 04 21-12 ことも 事各玉哈 事とも穂  
 04 21-12 すまにはすまに陽 すまにはす力「穂  
 04 21-12 いとゝいと各玉「いとゝ穂  
 04 21-13 ゆきひらの中納言の ゆきひらのあそぶちう  
 なごんの各ゆきひらのぞ以中納言(の陽行  
 平朝臣) (の穂  
 04 21-13 ふきこゆる ふきこゆ各玉  
 04 21-13 いひけん「いひけん穂  
 04 21-14 けに「けに穂  
 04 21-14 ちかく ちかつ各穂  
 04 21-14 きこえて きこえても穂  
 04 21-14 またなく またなう陽  
 04 22-01 御前 御まへ陽穂玉哈  
 04 22-01 いと人すくなにて 人いとすくなにて各人  
 すくなにて陽  
 04 22-01 うちやすみわたれるに みなやすみわたれる  
 に各 みなうちやすみわたりたるに陽 みなう  
 ちやすみわたれるに穂 陰 みな人哈「み  
 なうちやすみわたるに玉  
 04 22-01 めを 御め各  
 04 22-01 さまして さまし給て陽 哈「つちさまし給て陽  
 04 22-02 よものあらしをきゝ給になみたゝよものあ  
 らしをきゝ給なみたゝ穂  
 04 22-02 なみたゝこゝもとになみはたゝこゝもとに  
 各哈 なみたゝこゝもとにたゝこゝもとに「ミセ  
 ケチ八たノミニ付スガ推読「陽  
 04 22-02 たちくる たちかえる玉

04 22-03 おつとも おつとしも各  
 04 22-03 おほえぬにおもはぬに陽 おもえぬに  
 哈  
 04 22-03 枕まくらも陽穂 枕は玉  
 04 22-03 なりにけりけり各  
 04 22-03 琴きん各陽玉哈  
 04 22-03 かきならし給へるか かきならして陽  
 04 22-04 いとナシ各穂  
 04 22-04 すこつすこく各玉哈 あはれにすこく  
 陽  
 04 22-04 ひきさし給て ひきさして玉  
 04 22-06 給へるに 給に陽  
 04 22-06 おとるきて をきて哈  
 04 22-06 めてたうめてたく各陽哈  
 04 22-06 おほゆるに おほゆるさえ陽 おもほゆるに玉  
 04 22-06 しのはれて えしのはれて哈  
 04 22-06 あいなう あいなく陽  
 04 22-06 おきあつゝ おきいつ各おきゐて哈  
 04 22-07 けに 穂  
 04 22-07 わか身ひとつによりわか身一によりて  
 陽  
 04 22-07 おやはらから おやはらからをもちかれほと  
 につけつゝ陽 哈 おやはらからをもち穂をやは  
 らからに玉  
 04 22-08 かた時 かた時も陽玉 かたときたに哈  
 04 22-08 たちはなれかたく たちわかれかたく各 たち  
 さりかたく陽 哈 はなれかたう穂 たちはなれ  
 かたう玉

04 22-08 ほとにつけつゝ ほとにつけては各穂 ほとに  
 つけては各ナシ陽哈  
 04 22-08 おもふらむ 思らんも各 思はん哈  
 04 22-08 家を人をも各いゑちを陽 哈 家をも穂  
 04 22-08 わかれて はなれて陽 哈  
 04 22-09 まとひあへると まとひあえるよと各 なけき  
 あえることを陽 哈 まとひふ歎て玉  
 04 22-09 おほすに おもほすに哈  
 04 22-09 いみしくて いみし各いとをしう陽 哈 いみ  
 して穂  
 04 22-09 いといていと各 わか陽 哈  
 04 22-09 思ひしつむ おもひしつむ ぶノ上カラひ書  
 づ陽  
 04 22-09 さまを さまをも陽 哈  
 04 22-09 おもふらむ おもふらんかし陽  
 04 22-10 なにくれとなにくれとたわふれ事各玉 哈 な  
 にくれとたはふれことを陽 穂  
 04 22-10 うちの給まきはし うちの給まきはして  
 各の給まきはし陽 のたまひまきはして  
 玉  
 04 22-11 つきつゝ つきて陽  
 04 22-11 てならひを てならひ 哈  
 04 22-11 したまひし 給各玉 し陽 したまふ穂  
 04 22-11 なんとに 各  
 04 22-12 さまノのゑともを さまノの なるゑと  
 もをそ陽 ナシ穂 さまノのゑとも玉 さま  
 ノのゑともと 哈

04 22 12 かきすさひ給へる かきすさみ給へる各 かき

すさひ給ける陽 すすみかき給へる穂 陰 すすみ  
みすさひ 陰

04 22 12 屏風 御ひやうぶ陽 穂 御ひやうぶ 部八

旁ノ三陽

04 22 12 ともなと ナシ各 ともに陽 など 哈

04 22 12 めてたく ナシ各 穂

04 22 13 あり おほかり 哈

04 22 13 人ノノの いつそや山てらに人ノノ各 いつそ

や山てらにて人ノノ陽 陰 人ノノノノの 陰

いつそやひとノノ 穂

04 22 13 かたり ものかたり 各

04 22 13 おほしやりしを おもほしやりしを各 哈

04 22 14 御めにちかくては 御めちかくては穂 陰 御め

ちかう侍玉

04 22 14 けに ナシ 陽

04 22 14 になくなく 陽 玉 哈 ナシ 穂

04 22 14 かきあつめ給へり かきあらはし給 陽 かき

あらはし給へり 穂 かきあらはしたまへれば

哈

04 22 14 このころの このころ 陽

04 23 01 上手にすめる 上手なる各 上すにする

陽

04 23 01 なとを など 各

04 23 01 つくりぬ つくりぬを各 穂 ぬを陽 つくぬぬ

玉

04 23 01 つかまつらせは やとせさせは やなと

穂

04 23 02 心もとなかり 心もとなかゆかニ汚し力 玉 心

もとなかり(かり) 陰

04 23 02 なつかしうめてたきめてたくなつかしき 陽

04 23 02 御さまに 御ありさまに各 陰 御ありさま

陽

04 23 02 世のものを思ひわすれてちかうなれつかうまつ

るをちかうなれつかうまつるよもの物思ひ

わすられ 陽

04 23 02 世のものを思ひよのおもひ 穂 よもよろこひ

のおもひ 哈

04 23 02 わすれて わすれつゝ各 穂 陰

04 23 02 ちかうなれつかうまつるをつれしきことに

て ナシ 各

04 23 02 ちかうちかく 哈

04 23 02 つかまつるをつかまつる玉

04 23 03 ことにて 事にてそ 陽 穂 事におもひてそ

哈

04 23 03 四五人はかりそ 四五人はかりの程は各 五六

人は陽 四五人はかり 穂 五六人はかりのひと

は 哈

04 23 03 さぶらひける さぶらひけり 各

04 23 04 色ノノ色ノノに 陽 玉

04 23 04 さきみたれさきわたれり各 さきわたり 陽

哈

04 23 04 うみやちらるゝうみらるゝ 哈

04 23 04 うらに(うら)に 各

04 23 05 たゝすみ給ふたゝすまひたまふ 穂

04 23 05 さま 御ありさま 陽 御さま 玉

04 23 05 ゆゝしうゆゝしく 穂 陰

04 23 05 きよらなる事 きよけなる穂 きよらなり 事り

カ玉

04 23 05 所からは 所からには穂 ヽ」ト」ころから

哈

04 23 05 ましていとノ陽 さしてノヨイカ」 穂

04 23 05 この世のものとこのよのものとの各 陽 穂 玉

哈(とん)とも 陽 穂 玉 陰

04 23 06 しろきあやの しろきか 陽

04 23 06 なよかなる なよかなる御そとも各 穂 と

も ナシ 穂」なよかなる御そとも 陽

04 23 06 など ナシ 穂

04 23 07 御なをし 御なをしに 陽 玉 陰

04 23 07 おひ おもひ 哈

04 23 07 しとけなくしとけなくして 穂 しとけなく

玉

04 23 07 うちみたれ給へるうちみたれ給へたる各 う

ちみたれたる 陽 玉 陰

04 23 07 御さまにて さまして 陽

04 23 07 釈迦牟尼仏弟子 しゃかむに 仏てし 陽 しゃか

むに 仏の弟子 穂

04 23 08 よみ給へるよみ給へるめてたさは各 陽 穂 陰

「めてたさはめてたさ 哈」 ナシ 玉

04 23 08 また ナシ 各

04 23 08 ふねとものふねとも各 哈

04 23 08 うたひつたうたい各 陽 穂

04 23 09 こきゆくこきくる 陽

04 23 09 きこゆほのかにほのかにきこへて 陽 きこゆ

ほのかにたて玉きこえてほのかに 哈

04 23 09 たゝ ナシ 陽 玉

04 23 09 通りのとりともの哈  
 04 23 09 みやらるゝもみやらるゝもれて陽みやらるゝも玉  
 04 23 10 心ほそけなるにさまゝ心ほそけなるに各陽哈(さまゝゝさまゝゝに哈)  
 04 23 10 かりのかり哈  
 04 23 10 なくくる陽穂くるに哈  
 04 23 10 声一と各  
 04 23 10 かちのをとにかちをとに玉  
 04 23 10 まかへるをまかへり陽穂まかへる玉まかへりと哈  
 04 23 11 涙こぼるゝ涙のおつる各陽なみたのこぼるゝ穂なみたのこぼるゝを玉なみたのつかへる哈  
 04 23 11 かきはらひたまへるはらひ給へる各つちはらひたまへる穂  
 04 23 11 御てつきてつきの陽御てつきの玉哈  
 04 23 11 くるき御すゝかのくるきすゝ各くるきすゝ穂哈  
 04 23 11 はえ給へるはえ給へるは各玉哈はえたるは穂  
 04 23 12 女ゝ女なと各陽女なとの哈  
 04 23 12 人ゝゝわか人との各哈わか人も陽ひとつもの穂人ゝゝの玉  
 04 23 12 心ナシ陽心玉心ち哈  
 04 23 12 みなゝくさみにけりなくさみけり各みなゝくさみぬ陽みなゝくさみけり穂  
 04 23 13 こゑのかなしきこゑのかなしきき力カ玉

04 24 01 おもほゆるおほゆる陽穂思ほゆる玉  
 04 24 01 民部大輔みんぶのたいふ各しきぶのたいふ穂  
 04 24 03 とこよをすてゝとこよをすてゝ各  
 04 24 03 くものよそにもくものよそも陽玉哈  
 04 24 03 おもひけるかなおもひやるかな穂  
 04 24 03 さきの右近のそつさきの右近のせつつねみつ各さきのうこんのせつ陽さきの左近のせつ穂哈さきの左近のせつ穂前右近のそつ玉  
 04 24 05 たひのそらなるたひのそらとふ陽  
 04 24 05 かりかねもかりなれと陽穂哈かりかねは玉  
 04 24 05 づらにをくれぬづらにおくれぬ玉  
 04 24 05 ほとそなくさむ程そなくさん哈  
 04 24 06 いかにかゝ陽  
 04 24 06 侍らましと侍ましと穂玉  
 04 24 06 いふいふは各穂哈  
 04 24 06 ひたちひたちのかみ各穂哈  
 04 24 06 くだりしにもくだりしもしノ上カラリヲ書クカ各くだるにも穂  
 04 24 06 さそはれてさそわれてとまりて陽哈  
 04 24 07 したにはしたに穂  
 04 24 08 つれなきさまにしありくつれなくすましありく陽つれなきさましてありく穂つれなくさましありく哈  
 04 24 08 月の月陽  
 04 24 08 はなやかにさしいてたるにあかき花やか

04 24 08 こよひはこよひは玉  
 04 24 09 なりけりとなりと玉  
 04 24 09 御あそひ御あそひも陽玉哈御あそひも玉  
 04 24 09 こひしくこひしう各陽穂玉  
 04 24 09 所ゝゝ所ゝゝに穂玉  
 04 24 10 つけてもつけても各ナシ哈  
 04 24 10 まもられ給ふまほられ給陽玉  
 04 24 10 二千里外故人心二千里のほか故人の心各玉一千里のほかのこしんの心陽穂哈  
 04 24 10 すし給へるすし給へるに各しゆんしな  
 04 24 11 とゝめられすとゝまらす各陽玉哈とゝめ給はす穂  
 04 24 11 涙もなみた陽穂玉  
 04 24 11 入道の宮の入道宮の哈  
 04 24 11 へたつるとへたつるなど各  
 04 24 11 のたまはせしの給し各陽玉哈  
 04 24 11 ほとほとのたまひしほと玉  
 04 24 12 かたなくかたなう穂  
 04 24 12 恋しくこひしう各陽穂  
 04 24 12 事事も各陽哈  
 04 24 12 おもひいておもひてられ穂  
 04 24 12 給ふに給行末虫損タガに八ナイ力陽  
 04 24 12 なかれ給ふなかれて陽なかれ給て穂ななかれて玉なかれし哈  
 04 24 12 よふけ夜ふけ陽穂玉哈

04 24 14 しばしなくさむ しばしなくさん玉  
 04 24 14 そのよその夜陽穗哈  
 04 25 01 うへのいとつかしういとつかしう系の  
 の各う系のなつかしく陽う系のいとつか  
 しく玉哈  
 04 25 01 むかしものかたりむかしの御物かたり  
 哈  
 04 25 01 したまひしせさせ給し各  
 04 25 01 御さまのさまの陽ナシ穗おほむさまの  
 哈  
 04 25 01 院に二院に各哈  
 04 25 02 給へりしも 給へりしさまも各 給へりしも  
 陽  
 04 25 02 恋しくこひしう各陽穗  
 04 25 02 思いてきこえ給ひておもひいてきこえ給  
 陽  
 04 25 02 恩賜の御衣は 恩賜御衣玉  
 04 25 02 すしつゝすへし給て各すんし給ひて陽玉す  
 んし給つゝ穗すんしつゝ哈  
 04 25 03 いら給ひぬ いら給穗  
 04 25 03 御そはまことまことに御そは各陽哈まこ  
 とに御そはに穗  
 04 25 03 身をはなたす みはなたす各陽玉身はなたれ  
 す穗 御身はなたす哈  
 04 25 03 かたはらに ナシ陽穗玉哈  
 04 25 03 をき給へり おき給へりき各をい給へり陽穗  
 玉哈  
 04 25 04 ひとへにものは ひとつに物は哈  
 04 25 04 おもほえておほへて陽穗 思ほへて

玉  
 04 25 04 ひとりみきにも ひとりもみきも陽穗 ひとり  
 みきりも哈  
 04 25 04 そのころそのころ各陽哈 そのころは  
 力「穗  
 04 25 05 大貳かの大貳各穗 又大貳哈  
 04 25 05 いかめしくいかめしう各陽穗 いかめしくて  
 玉  
 04 25 05 ひろくひろくて各陽 ひろく穗  
 04 25 05 むすめかちにて むすめともおほくて各 むす  
 めかちに陽  
 04 25 05 所せかりければ 所せかりけれ哈  
 04 25 05 きたのかたは きたのかたも各  
 04 25 06 ふねにて ふねて穗  
 04 25 06 のほる ナシ各  
 04 25 06 せうようしつゝ せうえうなとして陽 せうよ  
 うしつゝ玉 せうえうしつゝ哈  
 04 25 06 くるのほる各  
 04 25 07 心とまるにいとまるくとまるに玉哈と  
 へまるにとまるに哈「  
 04 25 07 大将 大将殿陽  
 04 25 07 きけは ぎくに陽哈  
 04 25 07 あいなう あいなく陽哈  
 04 25 07 すいたる すきたる各陽  
 04 25 07 わかき ナシ各陽玉  
 04 25 08 むすめたちは むすめ各 むすめともは陽玉  
 哈 むすめたち穗  
 04 25 08 舟のうちさへ ぶねのうちにて各舟の中は各  
 穗

04 25 08 はつかしう ナシ各 はつかしく哈  
 04 25 08 心けさう 心けしやう穗  
 04 25 08 五節の君かの御節の君各陽哈 御節こそち  
 陽哈「  
 04 25 09 琴きん各陽穗玉哈  
 04 25 09 かせにつきて かせにつけて穗  
 04 25 09 はるかにきこゆるに ほのかにきこえたり  
 各きこゆ陽 はるかにきこえたる穗哈「た  
 るたり哈「  
 04 25 09 所のさま 所さま穗哈  
 04 25 10 人の人のヲ削ッテ人ヲ書ク「玉  
 04 25 10 心ほそさ 心ほそさも陽穗玉  
 04 25 10 とりあつめ とりあつめて各陽玉哈  
 04 25 10 かきり かきりは各穗玉哈  
 04 25 10 なきにけり なきけり穗  
 04 25 10 そちうちそち(は各そちは陽哈  
 04 25 11 御せうそく 御せうそく穗哈 御せうそく  
 哈  
 04 25 11 いと ナシ各陽穗哈  
 04 25 11 はるかなる はるかならん陽  
 04 25 11 ほとほとり哈  
 04 25 11 まかりのほりては まかりのほらんには陽穗  
 哈  
 04 25 11 まついっしか かつしかもまつ各哈 かつ  
 しかとまつ陽 かつしかまつ穗 かつしかと  
 玉  
 04 25 12 さぶらひて まいりて各陽 まいり侍て穗 ま  
 いらそひて哈  
 04 25 12 おもひ給へ侍りつれ 思ひ給つれ陽哈 おもひ

給わたりつれ穂 思たまへ侍つれ玉

04 25 12 かくてて陽 かう穂玉 かく玉

04 25 13 おはしましけるをはしましけるに各 おはします穂

04 25 13 御やと 御やとり陽穂玉哈

04 25 13 まかりすき侍 まかりすくるなん陽 まかりすくるか穂 まかりすき侍る玉 かくまかりすくる哈

04 25 13 かたしけなうかなしうもかたしけなくも各穂 かなしうかたしけなくも陽 かなしけなうも穂 かなしけなくかなしうも哈

04 25 14 人ノゝさるへきこれかれ人ノゝもさるへきとのゐ人もこれかれあかしのうらに各さるへき人ノゝのあまた陽 人とゝさるへきとのひとかれこれあかしのうらに穂 人とゝもかれこれ哈

04 25 14 まてきむかひてまうてきあひて各まうてきむかいて陽穂 きむかひて玉

04 25 14 あまた侍れはおほくるいして侍るに陽 おほくるいしてなん侍れは穂 あまたるいして侍れは哈

04 25 14 所せさをとこらせきに各穂 ナシ陽 所せさに哈

04 25 14 思ひ給へ おもふたまへ各哈 おもふ給陽 思たまへ穂 思たまへは玉

04 26 01 はかり侍ことゝも侍りてはかりてなん各 はかりて陽 はかる事侍て穂 事ことも哈 はかりる(こと)も侍て玉

04 26 01 えさぶらはぬいとあさぶらひ侍らぬ各え候

はぬを陽 へさぶらはぬ穂 えいはぬ哈

04 26 01 侍らむなど 候はんと陽

04 26 01 きこえたりきこえ給へり各 ナシ玉

04 26 02 この殿のこの君の哈

04 26 02 なしなして陽

04 26 02 かへりみたまひしかへりみたて給し哈

04 26 03 いともいと各穂 ナシ陽

04 26 03 かなしかなしう各陽 玉かなしく陽

04 26 03 おもへともおもへと陽 玉哈

04 26 03 また ナシ哈

04 26 03 人ノゝの 人ノゝ陽 玉哈

04 26 03 きこえをおもひてよのきこえをおもひ各

04 26 04 はなれてのちはなしてのちヨイカ穂

04 26 04 えたちとまらすえとまらす各えたちとまらす陽 えたちとまり候はす哈

04 26 04 昔したしかりしむかしの各むかししりたし哈

04 26 04 人ノゝ人に各穂 人にも陽 哈

04 26 04 あひみるあふ各

04 26 05 事ことも哈

04 26 05 かたうのみなりにたるにかたくいふせうおもへるに各かたくいふせくののみおもふに陽

04 26 05 おもふに思つるに哈 かく穂

04 26 05 かく ナシ穂

04 26 05 たちより ナシ各陽

04 26 05 の給ふの給ふに哈

04 26 05 御返も 御いらへ各 御いらへも陽 哈 御かえりも玉

04 26 06 さやうになむ さらになん各 さやかにひきこ

えすなん哈

04 26 06 御ありさまかたる ありさまをかたるに陽 御ありさまかたるに穂 哈 ありさまかたるに玉

04 26 06 そちより そちを陽 そちより玉

04 26 06 はしめはしめて各

04 26 07 むかへのむかへにきたる陽

04 26 07 人ノゝ人も各ひとゝもゝ穂 人ノゝも

04 26 07 まかノゝしうまかノゝしきまで各陽 玉

04 26 07 五節は 五せち陽 五せは哈

04 26 07 とかくしてとかうして各穂

04 26 08 ひきとめらるゝひきとめらるゝ陽

04 26 08 君しるらめや 君しるらめや穂

04 26 09 ほをえみてほゝえみて各陽 哈

04 26 09 給みたまふも各陽 穂 玉 みたまへる

04 26 09 いと ナシ陽 穂

04 26 10 ひきてのつなのひみきてのなはの各ひき

04 26 10 たゆたはゝ たゆたまは(は)ハ陽

04 26 11 おもはざりしはや おもはざりしやは各おも

04 26 11 むまやのおさに むむまやのをさに哈

04 26 11 くしとらすするくしとらするゝ各陽 穂 哈 ぐく

04 26 12 ましてさし下さカ穂

04 26 12 おちとまりぬへくをちとまるへく各たちと  
 まりぬへく陽  
 04 26 12 おほえけるおもほえける各おもほしける  
 哈  
 04 26 12 みやこには京には各陽穂哈  
 04 26 12 月日すくるまんに月日のふるまんに陽哈月  
 日の月日の哈  
 04 26 12 みかをとみかより各陽穂哈  
 04 26 13 はしめたてまつりてはしめたてまつりて  
 ノ上カラたヲ書ク玉  
 04 26 13 こひきこゆるこひきこ入給各こひきこゆる  
 入哈  
 04 26 13 おりふしおりふしに哈  
 04 26 13 春宮は春宮はた陽  
 04 26 13 つねにナシ陽  
 04 26 13 おほしいてつおほしいて各哈おもひい  
 てきこ入給つ陽  
 04 26 14 しのひてしのひ各  
 04 26 14 なぎ給ふなぎ給を各陽穂玉哈  
 04 26 14 みたてまつる御めのと御めのとたち各哈御  
 めのとたちも陽みたてまつるめのとたち  
 穂おもほめのとたち哈  
 04 26 14 命婦の君は王命婦の君などは哈  
 04 27 01 入道の宮は入道の宮も陽穂玉入道宮は  
 哈  
 04 27 01 ゆゝしういみじう各ゆゝしうノ上カラ  
 くヲ書ク陽  
 04 27 01 のみナシ各  
 04 27 01 おほしににおほしはかくよをそむき給

て各おもほすに陽哈おほすによをそむき給  
 ひて穂  
 04 27 01 大将 大将殿陽  
 04 27 02 かくナシ各  
 04 27 02 さすら入たまひぬるをさすら入給入れは  
 各さすら入給を陽哈さすら入給穂  
 04 27 02 いみじうナシ各いみしく陽  
 04 27 02 おほしなけることよろしつまつりて御  
 けしきもよろしうなるとき給ふれはいか  
 はせんたいらかにたにすくし給はとたのみ  
 きこ入給もいと物はかなきほどにおはします  
 にそよはき心ちし給ける各おもほしめしてい  
 かはせんたいらかにたにをほしめすくし  
 てこともよろしうならばとおほすいと物はか  
 なきほどにをほしますそたのもしけなき心ち  
 し給陽哈おもほしめしておもほしめして陽お  
 もほせと哈をほしめしをほし哈とおほ  
 すなごおもす哈し給したまひける哈とお  
 ほしめすによろしくしつまつりて御けしきすこ  
 しなをるときい給へはいかはせんたいら  
 かにたにみし給はとのみたのみ給もいと物  
 はかなき程におはしますによはき心地しける  
 穂  
 04 27 02 御こたち御こたちも各みこたち陽穂玉哈  
 みこたち玉  
 04 27 02 むつまつしうむつまつく陽穂むつまつし  
 玉  
 04 27 03 きこえ給ひしきこ入かたらひ給し各陽  
 哈

04 27 03 かむたちめなどかんたちめなどは各上達部  
 哈  
 04 27 03 はしめつかたははしめつかたは玉  
 04 27 03 とふらひとふらひとふらひ穂さふらひ  
 哈  
 04 27 03 きこえ給なときこ入給なるとも各陽なると  
 もなとも陽きこ入なと哈  
 04 27 04 あはれなるふみをつくりかはしそれにつけて  
 も世中のみそれにつけてはあはれなるふ  
 みをつくりかはしつ陽  
 04 27 04 ふみふみとも各  
 04 27 04 つくりかはしつくりかし哈  
 04 27 04 それにつけてもそれにつけて哈  
 04 27 04 世中のみよのなかに各哈世中に哈  
 04 27 04 めてられ給へはめてられ給入れは哈  
 04 27 04 きさいの宮きさいの宮哈  
 04 27 05 いみじういみしく陽  
 04 27 05 おほやけのおほやかたの穂  
 04 27 05 人はナシ玉  
 04 27 05 心にまかせてナシ陽心にもまかせて  
 穂  
 04 27 06 あちはひをたにあちはひ穂  
 04 27 06 たにたにそ陽  
 04 27 06 する事かたうする事なく陽哈する事かたう  
 玉  
 04 27 06 あなれあなれ各陽玉哈  
 04 27 06 いへるしていゑぬしてせうゑうを各穂せ  
 うゑうせうよう穂いゑぬしてせうゑうし  
 て陽いゑぬしてせうゑうしつ陽

04 27 06 世中をそしりもときて心をやりてみ給へる  
 ことよの中をもときて各陽穂哈心をやりてナ  
 シ哈  
 04 27 07 しかをしく各陽穂  
 04 27 07 いひけむ人のひかめるやうにいひけんやう  
 にもてひかめたる人のかくは各陽穂哈もて  
 ひかめたるもてひかめる哈「かくはかうは  
 穂かく哈」いひけん人のやうにひノ上カラ  
 いヲ書ク「玉  
 04 27 07 ついせうついでそう哈  
 04 27 08 などなりなと各穂哈なりと陽  
 04 27 08 あしきあやしき陽  
 04 27 08 ことゝも事ともの各玉こと穂  
 04 27 08 きこえければきこえてければ穂  
 04 27 08 わつらはしとてわつらはしうてたえて各陽  
 陰わつらはしうてわつらはしうて陽「わつ  
 らはしとてたえてせちにも穂わつらはしと  
 てたえて玉  
 04 27 08 せつそこきこえ給ふせつそこもし給各せつ  
 そくきこえ給陽哈きこえ給はす穂  
 04 27 08 人なしナシ穂人もし哈  
 04 27 09 二条院二条のゑん陽  
 04 27 09 おほしなくさむなくさむ各陽穂哈  
 04 27 09 おりよ陽かた哈  
 04 27 09 ひんかしのひかんしの哈  
 04 27 10 人ノも人ノハ陽人ノ玉  
 04 27 10 まいりしはしめはまいりしはしは各まいり  
 にしをしはしは陽  
 04 27 10 ながさしもなにかさうても陽なにかさし

も穂哈  
 04 27 10 あらむとあらてもと各ありななんと陽あ  
 らてなと穂あらてと哈  
 04 27 10 おもひしかとおもひしかとも各穂  
 04 27 11 なつかしうなつかしく陽なつかしき  
 哈  
 04 27 11 おかしきナシ哈  
 04 27 11 御ありさま御さまにて各御ありさまにて陽  
 穂哈  
 04 27 11 まめやかなるまめやかなるかたの各陽穂  
 哈  
 04 27 12 思ひやり思やり穂  
 04 27 12 ふかうふかく陽玉哈  
 04 27 12 なへてならぬをしなへたらぬ各穂哈おしな  
 へてはあらぬ陽  
 04 27 12 きはの人ノには人ノには各わかき人ノ  
 ノなどには陽きはのひとノは穂  
 04 27 13 などなとも哈  
 04 27 13 そころころ各陽  
 04 27 13 中に御中にも各御中に陽哈なかに穂  
 玉  
 04 27 14 ひさしくひさしく各玉  
 04 27 14 御すまゐ山さ陽穂哈  
 04 27 14 ひさしくなるまゝに恋しきまゝに穂  
 04 27 14 えねむしすくすまじうえねんしすこすまし  
 う陽穂えねんすくし給ましく哈  
 04 28 01 おほえ給へとおほえ給へは陽穂  
 04 28 01 あさましきすくせとおほゆるあさましし  
 ゆくせやとおほえ給陽

04 28 01 すまゐにすまひなるに各哈すまに陽  
 04 28 01 いかてかはいかてか各穂哈いかてかかくて  
 は陽  
 04 28 01 うちくしてはうちくしてはものし給はんと  
 各哈すくし給はんと陽  
 04 28 02 さまを御ありさまを陽哈御さまを玉  
 04 28 02 おもひかへし給ふ思かへし給てノ上カラ給  
 ヲ書ク「玉  
 04 28 02 つけてつけては陽玉哈  
 04 28 03 み給へしらぬみ給しらぬも陽み給しらぬ  
 穂  
 04 28 03 しも人の人の各陽  
 04 28 03 うへをもうえをもさまをも各哈「うへこえ  
 哈」こえもさまも穂  
 04 28 03 み給ひならはぬみならはぬ陽ならはぬ  
 穂  
 04 28 03 御心地に御心ちには陽御心に哈  
 04 28 03 めさましうめさましく陽哈  
 04 28 03 かたしけなうかたしけなく陽哈  
 04 28 04 みつからナシ各身つからも哈  
 04 28 04 煙のけむり「他本」玉  
 04 28 04 ちかくちかう各陽玉哈  
 04 28 04 時ノおりノ陽玉ナシ穂  
 04 28 04 あまのナシ陽穂哈  
 04 28 04 しほやくならむとしほやくなとのみ各し  
 ほやくと陽玉哈しほやくとのみ穂  
 04 28 05 おほしわたるはおほしわたるに各おほしわ  
 たれば陽  
 04 28 05 もの物を各



04 29 07 あからさまにもしのひても各  
 04 29 07 えいてきりけりいてきりけり各陽  
 04 29 08 なれはなりければ各陽哈  
 04 29 08 よしきよの朝臣よしきよは各哈よしきよ  
 陽  
 04 29 08 かのナシ玉  
 04 29 08 などなどを穂  
 04 29 09 ちゝ入道そちゝのにつたつそ各穂哈入道そ  
 陽玉  
 04 29 09 事なむ事なんある各陽穂哈  
 04 29 09 いひけれといひたりけれと陽哈  
 04 29 10 ものゆへもものゆへにとかく各物からは  
 陽ものゆへに穂にとかく哈  
 04 29 10 ゆきかゝりてゆきかゝりても穂  
 04 29 10 むなしくむなしく各穂  
 04 29 10 かへらむ返らんも穂  
 04 29 10 うしろてもナシ各うしろて穂うしろも  
 哈  
 04 29 11 くむしいたうてんしいたうて各くむしいた  
 みて陽おもひて穂くしいたうて哈  
 04 29 11 いかす世にいかにか八ま力答ゆかすよに  
 穂おもひつゝむよに哈  
 04 29 11 心たかく心たかう各  
 04 29 11 おもへるにおもへる陽  
 04 29 11 内はうちには各穂中は陽  
 04 29 12 ゆかりのみゆかりを各  
 04 29 12 こそはこそ各陽  
 04 29 12 事にすめれと物にすれと各ものにてあんめ  
 れと陽こにすめれとも穂身にすめれとも

玉ものにはすめれと哈  
 04 29 12 心はさらにも心にてまむに各心はさし  
 も陽心はさらにも玉哈  
 04 29 12 とし月を入けるにへける陽  
 04 29 13 かくてかくと穂  
 04 29 13 おはすをはします陽  
 04 29 13 はゝきみにはゝ君にも陽はゝに穂はゝの  
 きみに哈  
 04 29 14 源氏のひかる君源氏ひかる君各陽哈ひかる  
 君穂  
 04 29 14 おほやけのおほやけと各おほやけに陽穂  
 哈  
 04 29 14 御かしこまりにてかしこまりにて各かしこ  
 まりて陽穂哈  
 04 29 14 すまのうらにすまのうらにを穂  
 04 30 01 御すくせにて御すくせにてかゝるうらにも  
 のし給各御しゆくせにて陽  
 04 30 01 あるなりあるなめり各あるなめり陽  
 04 30 01 いかていかてか玉  
 04 30 01 かゝるかゝる事のある陽  
 04 30 02 この君にをこのきみに各陽穂玉哈  
 04 30 02 たてまつらむたてまつらぬりノ上カラらん  
 ヲ書ク各たてまつりてん陽哈  
 04 30 02 はゝはゝ君陽哈ナシ玉  
 04 30 02 あないてあな各陽哈  
 04 30 02 かたはやかはや各かたわらや穂  
 04 30 02 京の人の宮この人の各京のひとこゝに  
 穂宮この人こゝに哈  
 04 30 03 御めとも御めを各陽哈

04 30 03 もち給ひてもち給へる各もたまひて穂も  
 たまひての哈  
 04 30 03 そのあまりのひゝゝあまりに各陽哈その  
 あまりのひゝゝに穂  
 04 30 03 御め御めを各陽穂玉哈  
 04 30 04 あやまちしのひゝゝにあやまち各哈あやま  
 りあやまち哈しのひゝゝにあやまち陽  
 04 30 04 かくあやしきかゝる各陽哈かうあやしき  
 穂  
 04 30 05 いふいふに各陽よに穂  
 04 30 05 えしりたまはしいてえしり給はし各陽哈え  
 しりたうはし穂  
 04 30 06 し給へし給へ陽したれ穂  
 04 30 06 ついてしてナシ哈  
 04 30 06 こゝにもこゝに各陽穂哈  
 04 30 06 おはしまさせむとおはしまさせむと哈  
 04 30 06 心をわかこゝろを各陽穂哈  
 04 30 06 やりてやりつゝ各  
 04 30 06 かなはしくかたくなはしく各陽穂哈かた  
 くなはしく陽  
 04 30 07 まはゆきまてけにそありさままはゆきまて  
 各けにありさままはゆきまて陽穂哈ありさ  
 まありさまは哈はままは歎ゆきまて玉  
 04 30 07 かしつきけりかしつきり各穂哈  
 04 30 07 はゝ君はゝ君は陽  
 04 30 07 なとかめてたくともめてたくともなとか各  
 陽なとかめてたう穂  
 04 30 07 ものゝはしめにナシ各

04 30 08 つみにあたりてナシ穂  
 04 30 08 あたりてなかされてあたりなかせね各八  
 ノ上カラたりヲ書ク各陽哈 あたりてなか  
 され玉  
 04 30 08 人を陽  
 04 30 08 しても(ハ)さてもモ八判読陽  
 04 30 08 こころを心各陽穂玉哈  
 04 30 09 とつめ給ふへくはとつめ給つへく各とつめ  
 給は穂とめ給へくは玉  
 04 30 09 こそこそは哈  
 04 30 09 たはふれにても たはふれにて各  
 04 30 09 あるましきよにあるましき各穂  
 04 30 09 なり かな各陽穂哈  
 04 30 09 いふを いふ陽  
 04 30 10 いたくいたつ穂  
 04 30 10 つぶやくつとつぶやく哈  
 04 30 10 わかみかともかく わか御かとも各  
 04 30 11 なに事も なに事にも各陽穂玉ナシ哈  
 04 30 11 人に 人穂  
 04 30 11 ことになりぬることなりぬる玉ことなるに  
 なりぬる哈  
 04 30 11 いかにものし給君そ いかにものし給君そ  
 玉いかにもし給きみそは哈  
 04 30 11 こはみやす所かのはみやす所各陽哈か  
 のこはみやす所穂  
 04 30 12 をのかをちにおのこおほちに穂をのかみち  
 におうちおお敷ノ上カラおつヲ書ク玉  
 04 30 12 按察大納言あせちの大納言各陽穂哈  
 04 30 12 むすめ御むすめ各陽玉

04 30 12 かうさくなるすくれたる各陽  
 04 30 13 なをととりてなとりて各玉哈 名たかくて  
 陽  
 04 30 13 みやつかへに宮つかいに陽  
 04 30 13 いたしいたしたて哈  
 04 30 13 たまへりしにたてまつりに陽 給たりしに  
 穂 給えりしにノ上カラえヲ書ク玉  
 04 30 13 こくわつすくれてみかとのならひなく陽か  
 くはすくれて哈  
 04 30 13 ときめかし給ときめかし穂  
 04 30 14 事ナシ各陽穂哈  
 04 30 14 ならひなかりけるナシ陽 ながらひなかりし  
 哈  
 04 30 14 をもくておほくて各陽穂哈  
 04 31 01 給へる 給へるに各陽哈  
 04 31 01 女は 女陽  
 04 31 01 心 心をは各心を穂  
 04 31 01 たかくたかう各陽  
 04 31 01 かくる かく陽  
 04 31 01 む中人なりとて ぬ中人なれと各 ぬ中人に  
 なりにたりとて陽 ぬ中人ととなりきたれと  
 哈  
 04 31 02 おほしすてし ぬおほしすてし各陽哈  
 04 31 02 すくれたるかたちならぬとすくれてもあら  
 ぬかたちなれと各哈 かたちなとすくれてな  
 けれと陽  
 04 31 02 なつかしう けなつかしう各穂哈 なつかしく  
 玉 けなつかしく哈  
 04 31 03 あてはかにあてやかに各

04 31 03 心はせある 心あひ穂  
 04 31 03 やむことなき 宮このやむことなき各陽  
 哈  
 04 31 03 人に 人にも各哈 ひとなにも穂  
 04 31 04 身のこの陽  
 04 31 04 ありさまをくちおしきものにおもひりてあ  
 りさまをも各  
 04 31 04 たかき人は たかき人に哈  
 04 31 04 なにかすにも なにも陽 なにかすも  
 玉 なにかすとも哈  
 04 31 05 おほさし おほされし各 おもはし陽  
 04 31 05 つけたる つけたらん各  
 04 31 05 世をは ことは各 よをはた陽穂哈  
 04 31 05 おもふ人ノにおもふ人ノにも陽玉哈 お  
 もふひとにも穂  
 04 31 06 をくれなは おくれは各穂 をくれなん  
 玉  
 04 31 06 あまにも たあまにも哈  
 04 31 06 そこにも そこにも陽  
 04 31 06 なとそとそ各陽穂哈  
 04 31 07 ところせくところせう穂  
 04 31 07 神の御しるしをそひとしれすたのみおもひけ  
 る 神の御しるしをとくみせはやこそ思ひけ  
 る各陽穂哈 御しるしを御しるし穂とくナ  
 シ陽と下ヨイカ「穂」みせはや 見はや哈  
 04 31 07 神の御しるしをそ 神のしるしを玉  
 04 31 08 としとしなと各陽穂哈 としなんと各  
 04 31 08 なかくなかくて陽

04 31-09 さくらほのかにさへらのわつかに陽さへらのほのかに哈

04 31-09 さきそめてさきて各さき穂さきそめ哈

04 31-09 けしきナシ陽穂哈

04 31-09 うらゝかなるにうらゝ(らゝ)かなるに陽

04 31-10 事一とを玉

04 31-10 おほしいてられておもほしいてられて各おほしいてゝ陽穂玉哈

04 31-10 うちなき給ふうちなき給入る陽

04 31-10 おり一と穂

04 31-10 廿日あまり廿日よひになりて陽廿日すきて穂廿あまり玉廿日になりて哈

04 31-10 いにしとすきにしと各

04 31-11 わかれしはなれしたる陽

04 31-11 時ほと各陽穂哈

04 31-11 心くるしかりし心くるしけなりし各陽穂哈

04 31-11 人ノの御ありさま人と人ノありさま各ひとノの御ありさま穂

04 31-11 いとナシ穂

04 31-11 恋しくこひし各一こひし陽

04 31-11 南殿のさへらなてんのさへら陽南殿のさへらは穂哈

04 31-12 さかりにさかり各

04 31-12 御けしき御ありさまけしき補入符号八御ノ前ニアリ陽

04 31-12 うちのうへのうちのうへ各

04 31-13 きよらにけうらに穂

04 31-13 なまめいてなまめき給て各なまめきて陽穂玉哈

04 31-13 わか我わか陽我か哈

04 31-13 つくれるつくれかか後補力穂

04 31-13 くをしを各く穂

04 31-13 すし給ひしもすんし給しなと各穂玉すんし給し陽すんしなと給ひし御ありさまと哈

04 31-13 おもひいてきこえ給思いてきこえ給各おもひいてられ給陽

04 31-14 さくらかさしきさくらかさしてかさし(本行てニミセケチ玉

04 31-14 けふもきにけりけふもくぬきにけり陽けふもくらじ)きにけり玉

04 32-01 大殿の三位中将は大殿三位中将各かの三ゐの中將陽かの大殿三位中将穂かのおほと

04 32-01 いまはナシ陽

04 32-01 人からのいとよければ人からいとめてたければ各人からのよければ玉

04 32-02 をもくていとめてたくて各いとおもくて陽穂哈

04 32-02 世中よのなかの陽

04 32-02 あはれにいとあはれに穂

04 32-02 あちきなくいとあちきなくて陽あちきなくて穂

04 32-02 おりをりノ各

04 32-02 恋しくこひしと穂

04 32-03 おほえ給入はおほえ給入は穂

04 32-03 ことのきこえ物つきこへ陽きこえ穂

04 32-03 ありてあり玉

04 32-03 いかはいか各

04 32-03 おほしなして思ひなして各陽思なりて穂

04 32-04 まつて給ふまつて給へり哈

04 32-04 うちみるよりうちめるより穂

04 32-04 めつらしうめつらしく陽穂哈

04 32-04 うれしきにもうれしきあらうノ上力つうれ書ク力陽うれしきも穂

04 32-04 ひとつなみたそほれけるひとつなみたならすそほれ給ける各穂陰こほれ給けるこほれける穂こほれる哈

04 32-05 すまひ給入るすまひ給はん陽

04 32-05 いはむかたなくいはんかたなつ穂

04 32-05 からめいたりからめてきたり各からめきたり陽

04 32-05 所のさまところのさまあたり各陽穂哈

04 32-06 やつなるに様なるなりノ上力るにヲ書ク穂

04 32-06 竹たけの各穂たけを陽

04 32-06 しわたしていたつしわたして各いたつしまはして穂

04 32-06 おろそかなるおろかなる穂

04 32-07 きかちなるにきはやかなるに各きかちなる陽哈

04 32-07 あきにひのかりきぬさしぬきうちやつれてあ

をにぶのうさきなせぬきにうさちつれ哈

04 32 08 さしぬきさしぬきに穂

04 32 08 ゐなかひナシ穂

04 32 08 うちやつれてうちやつ(れて陽

04 32 08 しみみじうナシ陽いみじう穂

04 32 08 みるにままれて思ひまなりて各みるにま

れ哈

04 32 09 きよらなりけふらなり穂

04 32 09 とりつかひたまへる(とう)と(と)もとりつ

かい給へる物去ミセケチアルカ[陽

04 32 09 てうともてうとも各玉てうとも穂ナ

シ陽

04 32 09 かりそめにしなしてたかりそめの(ん)ちし

て各たかりそめにしして陽穂哈

04 32 09 おまし所も御まし所なとも陽哈御まし所お

まし所哈[おまし所穂

04 32 10 あらはにナシ各穂あさはかに陽哈

04 32 10 すくろくはむすくろくのは各穂しゆくる

く陽哈すくろくたむきのはん玉すく六哈

04 32 10 てうとたきのくなどてうとさうきなんと

各たのてうとやうの物去カ、虫損ニ

テ不明[陽たきのてうとやうのもの哈

04 32 10 ゐ中わなにしなして(る)中なまにしなして給へ

る(と)おかし陽(る)中なまにしなして穂(る)中

わさにしなしたる(と)をかし哈

04 32 11 ねんすのくねんすのくなどて各ねんしゆ

のくともめしゆ(き)なまに(し)う(陽哈)ねん

しゆ(給)す哈(と)も(と)も(ハ)陰

04 32 11 つとめ給けりとつとめ給入り各

04 32 11 みえたりナシ各みゆ陽穂みゆる哈

04 32 11 なたさまも陽さまなと哈

04 32 11 ことなび(と)なびに各穂哈ナシ陽

04 32 11 所につけ(と)ころにつけて各陽哈

04 32 12 みるにままれて思ひまなりて各みるにま

たるさまにそ陽(う)ありて穂

04 32 12 しなしたりしなしたる陽

04 32 12 あまともあまともの哈

04 32 12 あさりかつき穂

04 32 12 もてまいれるをまいれる各もてまいれ

を陽(ハ)ノ(て)まいれるを穂もてまいれるを

04 32 13 としふるとしふる(ん)陽穂哈

04 32 13 ヌトはせ給に(ハ)トはせ給へは各陽哈

04 32 13 さまノ(さ)まノ(に)各陽玉哈

04 32 13 やすけなきみのみのやすけなき各やすけな

き陽やすけなき身の穂

04 32 14 うれへをうれえなと各うれへを哈

04 32 14 申す申す(陽玉)申してハ哈

04 32 14 そはかとなくそはかとなし哈

04 32 14 なにかなになりノ上カラにヲ書ク穂なる

哈

04 32 14 ことなると(と)ことならんと各(と)ことなるとみる

に陽(と)なる哈

04 33 01 あはれにみ給ふあはれなり陽あはれにおま

ハ(み)たまふ穂

04 33 01 御そとも御そ各陽穂玉

04 33 01 かつけさせ給ふをかつけさせ給陽

04 33 01 いけるかひありとおもひけるかいと陽いけ

るかひと穂哈いけるかひありけりと玉

04 33 02 御むまとも御うまとも各御むまなとも

哈

04 33 02 ちかうちかく陽穂哈

04 33 02 みやりなるみやり(る)陽

04 33 02 くらかなにそなる(ら)かなにそより各(ら)

かなにそなる(陽)くらかなにそ穂

04 33 02 いねいねなるといふ物陽いねなといふも

の哈

04 33 02 かふなと御むまにかうを各かふも陽哈か

つなとも玉

04 33 03 めつらしうめつらしく穂哈

04 33 03 うたひてうたひたまひて穂

04 33 03 つきころの月ころ陽

04 33 03 御ものかたりおほん物かたり陽

各

04 33 04 なにともよをなに(と)も各(な)にとよを

穂(な)にとよを(は)哈

04 33 04 おほさておもはて各陽穂哈

04 33 04 ものし給かなしさを物し給か(な)しき事

穂

04 33 04 おと(の)を(と)玉哈

04 33 04 あけくれにつけてあけくれみつけて各

04 33 05 おほしなけくおほしなけ(と)各穂哈おほ

しなけく(さ)ま陽玉

04 33 05 などかたり給に(な)かたりき(こ)え給に各(な)

とものたまふに哈

04 33 05 たへかたく たへかたう各穂玉  
 04 33 05 つきすへくもあらねは つくすへうもあらぬ  
     に陽 つきすへうもあらねは穂  
 04 33 06 なかノ中ノハに哈  
 04 33 06 かたはしも 彖かたはしも穂  
 04 33 06 えまねはず まねはず各穂  
 04 33 06 よもすから 夜もすから トル力「穂  
 04 33 06 まとろます まとろまで各陽哈  
 04 33 06 ふみ ふみなど各陽哈  
 04 33 06 つくり ナシ哈  
 04 33 06 あかし給 あそひ給穂  
 04 33 06 さいひなからも さいひなから各玉  
 04 33 07 ものきこえを 物々きこえに穂  
 04 33 08 かなしひ かなしみ各哈 かなしひの陽穂「さ  
     かなしひの陽 かなしみの穂  
 04 33 08 春のさかつきのうちと 春のさかつきの中と  
     陽 春のさかつちと穂  
 04 33 08 もろこゑにすし給 うちすんし給 各もろこゑ  
     にすんし給 陽穂玉哈  
 04 33 08 御ともの人も ともの人みな各 御ともの人ノ  
     ゝみな陽玉 御共の物とも穂 御ともものひとノ  
     ハに  
 04 33 09 涙を なみたをのみ穂  
 04 33 09 をのかしゝ おのかしゝも 陽玉哈  
 04 33 09 はつかなる はるかなる哈  
 04 33 09 わかれ わかれを陽穂玉哈  
 04 33 09 おしむ しのふ哈  
 04 33 10 雁つれて かりつらねて 陽 かりのつらねて  
     陽 かりのつれて玉

04 33 10 あるしのきみ ナシ陽  
 04 33 12 さらに ナシ穂  
 04 33 12 立いてん たちいつへき 陽玉  
 04 33 12 心ちせて 心ちもせて 各玉 心ちもせず 陽  
     穂 心ちせず哈  
 04 33 13 花のみやこに 春の宮こに 陽  
 04 33 14 あるしの君 あるしのきみは 各けんしの君  
     陽  
 04 33 14 かくかう 各  
 04 33 14 なたしけなき かしこき 哈  
 04 33 14 御をくりにおほんをくりに 陽 御をくり  
     穂  
 04 34 01 ゆゝしうゆゝしく 陽 ゆゝしうは穂 哈 ゆゝ  
     しくは哈  
 04 34 01 おほされぬへけれとおほされぬへけれとも  
     各 おほしめされぬへけれとも 陽 おほさると  
     も穂 おほさるとも哈  
 04 34 02 へけれは へかめれば穂  
 04 34 02 なむと など各穂玉哈  
 04 34 02 御むまのおほんまの哈  
 04 34 02 しのひ給へし給へ哈  
 04 34 03 ふえの名ありけるなどはかり ぶゑたてまつ  
     り給 陽 哈 ぶゑのありけるなどはかり穂 ぶゑ  
     の名ありけるをはかり玉  
 04 34 03 人とかめつへき事はかたみにえしたまはず  
     人のとかめつへき事はかたみにえし給は  
     す 陽  
 04 34 03 人 人の陽玉哈  
 04 34 03 事はこととは穂

04 34 03 かたみに ナシ穂  
 04 34 04 えしたまはずし給はす 各  
 04 34 05 しつゝせられつゝ 各し給つゝ 陽 して  
     穂  
 04 34 05 いて給をいて 給各陽玉 いてたまふに  
     穂  
 04 34 05 みをくり給 つけしき ナシ 陽 みをくり給 心ち  
     穂 みをり給 けしき 哈  
 04 34 05 たいめむはと たいめん給はらんすらんざりと  
     もかてやはと各 陽 穂玉 給はらんすらん 給  
     はらんとすらん 陽 玉 哈 侍らん穂「  
     玉  
 04 34 06 あるしあるしのきみ各 陽 玉 あるし君  
 04 34 07 とひかふたつもとひかうたつめ 各  
 04 34 08 なからなからも 陽  
 04 34 08 かくなりぬる人 かくなりぬる人は各 陽 穂  
     玉 かくなりぬるに人は哈  
 04 34 08 むかしのむかし 陽  
 04 34 08 人たに 人たにも 陽 ひとに穂  
 04 34 08 はかノしう はかノしく 陽 穂 哈  
 04 34 08 又 ナシ各 陽 穂 玉  
 04 34 08 ましらぶ ましろつ穂  
 04 34 09 かくたか かつ穂  
 04 34 09 なにか なにかは 陽  
 04 34 09 さかひを さかひも穂 さかひをも 哈  
 04 34 09 なんと各 なんとおもふ給 侍らんと 陽 み  
     す なんと各 なんとおもふ給 侍らんと 陽 み  
     んとも 思侍ましと穂 みるとなむ 思侍らんな

と玉見むなどおほえはへらぬなど哈  
04 34 11 たつかなき たつきなき各陽玉哈 たつきか  
なき各哈 たつきか(い)なき玉

04 34 11 ともを恋つゝつまをこひつゝ陽  
04 34 11 かたしけなくとあることにもかくある事も  
かたしけなく各陽穂哈とあることにもとあ

る事も陽とあること哈(かくある事も)かゝ  
ることのおり(も陽)かゝるをりにも穂か  
ゝる事のおりにも哈(か)かたしけなくかたし  
けなう穂(か)かたしけなう玉

04 34 12 なれきこえ侍てなれきこゑさせて各なれき  
こゑさせならひ侍りて陽穂哈ならひ侍りてな  
らひて穂哈(

04 34 12 いとしもといとしも玉  
04 34 12 くやしうくやしく哈

04 34 12 思給へらるゝおりおほくナシ哈  
04 34 12 思給へらるゝおもひ給へらるゝ陽おもひた  
まへらるゝ穂

04 34 12 おりおほくをりおりおほくて穂をりもおほ  
く哈

04 34 12 なんと各玉なんとて陽哈なん穂  
04 34 13 あらてあらず陽哈

04 34 13 給ひぬる給ひぬ穂玉  
04 34 13 いと(いと各陽穂玉哈

04 34 13 かなしうかなしうそ各かなしくて陽穂玉  
哈かなしうて穂玉

04 34 13 やよひの三月の陽哈  
04 34 14 けふなむナシ穂(今日)けふ(なむ玉

04 34 14 かくナシ各

04 34 14 したまふへきとしたまふへきなど穂

04 35 01 なまさかしきなまさかしき各さかしき陽

04 35 01 人の人哈

04 35 01 うみつら海のつら陽哈うみのつらに  
哈

04 35 01 ゆかしうてゆかしくて各陽  
穂

04 35 02 せしやう許をせんさうはかり各陽(せんさ  
う)せさう陽(せん)上はかりを穂玉哈(せん  
上)せむしやう玉哈(せむし)やう玉(

04 35 02 ひきめくらしてひきめくらしてをします  
陽哈をしますおはす哈(

04 35 02 このその各陽穂哈  
04 35 02 くに(か)よひける(く)にかよひしける哈

04 35 02 陰陽師をんやうしを各御みやうし陽  
穂

04 35 03 ふねに(か)かてせ(ふ)ねに各ナシ陽哈(か  
て)せ(に)いかめしうして(ふ)ねに穂

04 35 03 人形のせて(人)かたをのせて各(人)かたなどつ  
くりて(ふ)ねに(い)れて陽哈(い)れてのせて哈(

04 35 03 み給ふに(み)給にもつき身に各(み)給もみに陽  
哈(み)給も穂玉

04 35 03 よそへられて(よ)そへられ給て玉  
04 35 04 おほつみの(は)らに(を)つみの(は)らに陽(大)つ

04 35 04 なか(か)れて(な)か(か)れて哈  
04 35 04 みの(は)らに哈

04 35 04 もの(は)かなしき(物)かなしき穂

04 35 05 御(さ)ま(さ)ま陽穂

04 35 05 さる(は)れに(い)て(ナ)シ各(は)まに(い)て(

04 35 05 い(ふ)よ(し)なく(い)ふ(か)た(な)く(各)い(ふ)よ(し)も(な  
く)穂玉(な)く(な)う玉(

04 35 05 み(え)給(ふ)み(ゆ)各陽穂哈  
04 35 06 な(き)わ(た)り(て)な(り)わ(た)り(て)各(な)み(わ)た(り(て

04 35 06 し(ら)ぬ(に)し(ら)ぬ(穂  
04 35 06 こ(し)か(た)ゆ(く)さ(き)き(し)か(た)ゆ(く)す(各陽)き  
し(方)ゆ(く)さ(き)穂哈(

04 35 06 お(ほ)し(つ)け(ら)れ(て)思(ひ)つ(け)ら(れ)て(陽  
玉)お(も)ほ(し)つ(け)ら(れ)て(哈

04 35 07 神(も)あ(は)れ(と)神(は)あ(は)れ(と)穂  
04 35 07 の(給)に(の)給(ほ)と(に)各陽哈

04 35 07 には(か)に(ナ)シ穂  
04 35 08 ふ(き)い(て)い(み)し(う)ふ(き)て(各陽)い(み)し(う)吹  
い(て)穂哈(い)み(し)う(い)み(し)く哈(

04 35 08 そ(ら)も(そ)ら(各陽)穂哈  
04 35 08 か(き)く(れ)ぬ(か)き(く)ら(し)つ(陽

04 35 08 御(は)ら(へ)も(御)は(ら)へ(を)も(哈  
04 35 09 ひ(ち)か(さ)あ(め)と(か)ひ(ち)か(さ)あ(め)各穂玉

04 35 09 ふ(り)き(て)ふ(り)か(せ)ふ(き)て(各)ふ(り)て(陽)穂  
哈

04 35 09 あ(は)た(し)け(れ)は(心)あ(は)た(し)け(れ)は(各  
陽

04 35 09 か(へ)り(給)は(む)する(に)か(へ)り(た)ま(ひ)な(ん)と  
する(に)各陽哈

04 35 09 する(に)各陽哈

04 35 09 かさもよみよかさも穂  
 04 35 10 ふきちらしふきちらして陽玉哈  
 04 35 10 いかめしういかめしく哈  
 04 35 11 たちてたちきて各穂玉哈  
 04 35 11 人ノ人の陽人ノ玉  
 04 35 11 あしをあしも各陽穂哈  
 04 35 11 はりたらむひるけたらん各穂ひきはりたら  
 ん哈  
 04 35 12 神なりひらめくなりひらめき各神のなりひ  
 らめき穂神なりひらめきて哈  
 04 35 12 心ちして心ちしていとみしう各心ちして  
 いとみし陽哈  
 04 35 12 たとりきてたとりきよノ上カラきてヲ  
 書ケカハ各  
 04 35 12 かゝるめは又かゝるめは各陽穂哈  
 04 35 13 などはなんとは各なと哈  
 04 35 13 ふくもふけは各ふけと陽ふく穂玉ふけ  
 と哈  
 04 35 13 あさましうあさましく陽哈  
 04 35 14 まとふにきとりに陽  
 04 35 14 猶やますかみなをやます各哈  
 04 35 14 なりみちて神なり陽玉ふりみちて穂  
 04 35 14 所とこは各陽哈  
 04 35 14 とおりぬへくとをりぬへう穂  
 04 35 14 はらめきおつひらめきをつ各はらめくに  
 陽  
 04 36 01 つきぬるにやとはてぬるにやと各哈はてぬ  
 るにやとまてそ陽はてぬかとまるかハぬカハ

04 36 01 心ほそく心ほそう穂  
 04 36 01 のとやかにこころのとかに各  
 04 36 01 うちすしてうちすんしつ各穂うちすんし  
 て陽玉うちしゆして哈  
 04 36 02 くれぬれはひくれぬれは各日くるほとに  
 陽くれぬるほとに玉  
 04 36 02 神神は哈  
 04 36 02 すこしナシ各  
 04 36 02 なりやみてなりしつまりて各哈なりしつま  
 りつ陽  
 04 36 02 風そ風は陽風哈  
 04 36 02 よるもなをよるも各陽哈なをも穂猶夜も  
 哈  
 04 36 02 おほくおほう玉  
 04 36 02 ちからしるし各哈  
 04 36 03 かくナシ陽穂  
 04 36 03 いりぬへかりけりいりぬへかりし陽  
 04 36 03 たかしほたかしか(を歟)各  
 04 36 04 いふものになむいふ物なん各いふ物に  
 陽  
 04 36 04 とりあへすととりあはす陽とりもあえす  
 哈  
 04 36 04 人人は穂  
 04 36 04 そこなはるゝとはそこなはると各そこなは  
 るとは哈  
 04 36 04 いとナシ各

04 36 04 事はまたしらすと事はたみきかすと陽哈は  
 たは哈「ことはいまたしらすなと穂事また  
 しらすと玉  
 04 36 05 あか月かたあか月かたに各陽玉哈  
 04 36 05 みなうちやすみたりうちやすみて哈  
 04 36 05 きみも君もうちやすみ給て各君は陽  
 04 36 05 ねいり給へればねたまへれば玉哈  
 04 36 06 人もの各陽哈  
 04 36 06 など又各なと各陽玉哈  
 04 36 06 めしあるにはめすには各陽めしあるに  
 玉めすに哈  
 04 36 06 まいり給はぬとてまいり給はぬといひて  
 各まいり給はぬとて穂  
 04 36 06 たとりありくかゝらめあるく陽たとりし  
 めありく穂そめきありく哈  
 04 36 07 みるにみゆるに各哈  
 04 36 07 さはさは各陽玉哈  
 04 36 07 うみのなかのうみの中の各陽哈  
 04 36 07 いとナシ陽哈  
 04 36 07 いたういたく哈  
 04 36 08 みれたるみ入たりける穂  
 04 36 08 いといと各哈  
 04 36 08 ものむつかしつ物がなしつ各ものむつかし  
 く哈  
 04 36 08 すまるすまひは穂  
 04 36 08 たへかたくたえかたう穂玉  
 04 36 09 おほしなりぬおほしなりぬへきはあかしの  
 まきにや穂